

第六十九回
帝國議會
貴族院

競馬法中改正法律案特別委員會會議事速記録第一號

付託議案

競馬法中改正法律案

委員氏名

委員長 子爵會我 祐邦君
副委員長 男爵關 義壽君

侯爵德川 賴貞君
侯爵池田 宣政君
伯爵酒井 忠克君
子爵高倉 篤麿君
子爵西尾 忠方君

松村眞一郎君
佐藤鐵太郎君

男爵沖 貞男君
男爵佐藤達次郎君

宮田 光雄君
丸山 鶴吉君

吉田羊治郎君
風間八左衛門君

昭和十一年五月二十日(水曜日)午後一時
三十七分開會

○委員長(子爵會我祐邦君) 只今カラ競馬

法中改正法律案ノ委員會ヲ開キマス、政府
委員カラ提案ノ理由ヲ成ベク簡單ニ、明瞭

ニ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(島田俊雄君) 只今議題ト相成

リマシタ競馬法中改正法律案ノ提案ノ理由
ヲ申上ゲマス、競馬法ガ實施サレマシテ以
來、御承知ノ如ク競馬ハ年ヲ逐ウテ隆盛ニ
赴キマシテ現在ニ於キマシテハ、競馬施行
ニ關シマスル諸般ノ情勢ハ競馬法制定當時
トハ著シイ變化ヲ示シテ居ルノデアリマス、
從ヒマシテ從來ノ制度ハ此ノ變化シタル情
勢ニ處シマシテ、競馬ノ使命ヲ達成スルニ
遺憾ナキヲ期スルコトガ困難トナツテ參ッ
ノデアリマシテ、競馬施行ノ當事者ト致シ
マシテモ、之ガ改善刷新ヲ必要トスルト云
フヤウナ意見ヲ唱フルヤウニ相成ッノデ
アリマス、又一面ニ於キマシテハ今年度ヨ
リ開始セラレマス馬政ノ第二次計畫ヲ遂行
致シテ參ル關係カラ致シマシテモ、競馬ノ
機能ヲ充實セシムルノ必要ガ一層緊切ヲ加
ヘマシタノデ、昨年馬政調査會ニ對シマシ
テ、競馬ノ統制、改善ニ關スル方策ニ付テ
諮問ヲ致シマシテ、同調査會ニ於キマシテ
ハ、慎重審議ノ結果、今年一月全會一致ヲ
以テ一ツノ答申ヲ決議セラレタノデアリマ
ス、本案ハ、右ノ答申ニ基キ立案致シタモ

ノデアリマシテ、大要左ノ諸點ニ付キ改正
ヲ致サントスルモノデアリマス、第一ハ、
競馬施行機關ニ關スル事項デアリマス、競
馬ハ馬政上ノ重要ナル使命ヲ以テ施行セラ
ル、事業デアリマスノデ、其ノ施行ハ權威
アル強力ナル機關ニ於テ、全國ヲ通ジテ統
制アル施行ヲ爲スノ要アルハ、申ス迄モナ
イノデアリマスガ、現在ニ於テハ、十一ノ
競馬俱樂部ガ、各々獨立シテソレゾレ其ノ
施行ノ任ニ當ッテ居ルノデアリマシテ、各自
其ノ俱樂部ノ事業ノミヲ念トシ、競馬ヲ施
行スルコトヲ免カレズ、爲ニ其ノ間ノ連絡
統制ハ之ヲ期シ難イ實情デアリマス、又一
面ニ於テ競馬事情ノ著シク變化シタル現在
トシマシテハ、民法ノ社團法人タル競馬俱
樂部ガ競馬施行機關タルコトハ制度上適當
ナリト申シ難キノミナラズ、實際問題ト致シ
マシテモ、之ガ爲ニ種々弊害ヲ生ズル原因
ヲ爲シテ居ルヤウナ事情デアリマス、仍テ
競馬法ニ依ル競馬ハ全國ヲ通ジマシテ、日
本競馬會ト稱スル一個ノ法人ニ之ヲ施行セ
シムルコトト致シマシテ、現在ノ各競馬俱
樂部ハ日本競馬會ノ競馬ノ開催ニ協力援助
スル團體トシテ存立スルコトト致シタノデ

アリマス、第二ハ取締ニ關スル事項デアリ
マス、競馬ノ隆盛ニ伴ヒマシテ、之ガ取締
ヲ徹底セシムルコトノ必要ナルコトハ改メ
テ申ス迄モアリマセヌ、本案ニ於キマシテ
ハ、競馬ノ公正ヲ期スル意味ニ於テ、調教
師及騎手ニ對シマシテ、其ノ取締ニ必要ナ
ル規則ヲ設ケ得ルコトトスルト共ニ、開催
執務委員ノ職務執行ヲ妨害スル者ニ對スル
制裁ヲ嚴重ニシ、且開催執務委員、調教師
騎手等ガ所謂厩屋ノ相手方トナリタル場合
ノ制裁ヲ嚴重ニスルコトト致シタノデアリ
マス、第三ハ政府納付金ニ關スル事項デア
リマス、從來勝馬投票券賣得金ニ關スル政
府納付金ハ、賣得金額ノ百分ノ六以內デア
リマシタノヲ、百分ノ八以內ニ改ムルコト
ト致シマスルト共ニ、將來日本競馬會ノ業
務執行ノ實情ニ即シマシテ、同會ノ保有ス
ベキ準備資金ノ總額ヲ定メ、其ノ額ヲ超エ
ル金額ハ、之ヲ政府ニ納付セシメ得ルノ制
度ヲ設クルコトト致シタ次第デアリマス、
改正ノ要點ハ大體右申上ゲル通りノ次第デ
アリマス、尙御質問ニ應ジマシテ詳細説明
ヲ致シタイト思フノデアリマス、何卒御審
議ノ上、速カニ御可決アラムコトヲ希望致

シマス

○委員長(子爵曾我祐邦君) 陸軍當局カラ

御發言ガアリマス

○政府委員(磯谷廉介君) 本案ニ關シマシ

テ陸軍ノ方ヲオ答ヘ申上ゲマス、過去三十年間ニ互ル第一次馬政計畫遂行ノ成果ヲ大觀シマスルト、之ヲ日露戰役當時ニ比較致シマスノニ、該戰役程度ノ所要馬數約十九萬頭デアリマス、之ニ對シマシテハ優ニ内地產馬ヲ以テ軍ノ所要ヲ充足シ得マスルノデ、其ノ資質能力モ亦軍馬トシテ略々遺憾ナイ程度ニ改善向上ヲセラレタ次第デアリマス、而シテ是等ハ關係ノ官民ノ方々ガ努力ヲ致サレマシタ結果デアリマシテ、軍當局ト致シマシテハ誠ニ感謝ニ堪ヘナイ次第デアリマス、併シナガラ爾來國軍戰時兵力ハ著シク増大ヲ致シマシテ、戰用資材モ亦益々増加シ、一面ニ於テ軍機械化ノ實現ヲ見ツツアリマスルケレドモ、戰時所要馬數ハ増加ノ一路ヲ辿ツテ居ル次第デアリマス、其ノ豫想頭數ノ如キハ日露戰役當時ノ約五倍ニ達シマシテ、今後更ニ格段ノ増加ヲ見マスコトハ必至ノ情況ニアルノデゴザイマス、馬匹能力ニ對シマスル要求モ亦益々向上セラレントシテ居ル趨勢デアリマシテ、從ツテ既往ニ於ケル馬匹ノ改良功程ハ遺憾ナガラ軍

備ノ擴充ニ追隨スルコトガ出來ナイト云フヤウナ狀態デアリマシテ、是ハ國防上誠ニ遺憾トスル所デアリマス、然ルニ輓近科學ノ發達ニ伴ヒマシテ、機械力ノ廣汎ナル利用ハ益々平時產業上ニ於ケル馬ノ用途ヲ減縮シ、馬數ノ増加竝ニ其ノ資質ノ向上ハ愈々困難ノ度ヲ加ヘムトスルモノガアルノデアリマシテ、從テ國防上、我が國馬政ハ既往ニ比シマシテ、更ニ格段ノ努力ヲ要スルモノガアルノデゴザイマス、而シテ競馬ハ馬政上緊要ナル施設デアリマシテ、軍馬資源ノ保持増殖上競馬ニ期待シナケレバナラス所ノモノガ甚ダ大キイノデアリマシテ、軍ニ於キマシテハ、常ニ多大ノ關心ヲ有シ、之ガ堅實ナル發達ヲ希望シテ居ルコトガ切ナル次第デアリマス、而シテ昨今競馬ノ隆昌ニ伴ヒマシテ、一般馬産ニ及ボス影響モ亦頗ニ強烈ノ度ヲ加ヘテ參リマシテ、之ガ施行ヲ適正ニ致シマスノデナケレバ、遂ニ競馬ノ健全ナル發達ヲ阻害シマシテ、延イテハ軍馬資源ヲ荒廢セシムルヤウナ虞ガナイデモナイノデアリマス、ソレデアリマスカラ、此ノ際競馬ノ施行ヲ公正適切ニシテ戴ク爲ニ、競馬施行機關ヲ統制強化セラレ、又現行ノ競馬法ニ所要ノ改正ヲ加ヘテ戴クコトハ極メテ必要ナルコト考ヘテ居ル次

第デアリマス、從テ此ノ趣旨ニ基キマシテ今回改正セラレマシタ所ノ本案ニ付キマシテハ、陸軍ニ於キマシテモ、全然同意ヲ表シテ居ル所デアリマシテ、農林當局ト共ニ、既ニ完全ニ意見ノ一致ヲ見テ居ル次第デアリマス
○委員長(子爵曾我祐邦君) ドウゾ御質問ガゴザイマシタラ願ヒマス
○風間八左衛門君 私ハ法制上ノコトモ、競馬ニ關スルコトモ至ッテ素人デアリマシテ、能ク存ジナイノデアリマスカラ、或ハ詳シク御質問ヲシナイト質問ノ趣旨ガ徹底シナイヤウナ、感じガアルノデアリマスカラ、會期切迫ノ折柄デゴザイマスカラ、極ク簡單ニ質問ヲ致シタイト思フノデアリマス、十三年以前ニ此ノ競馬法ガ實施セラレマシテ、只今陸軍ノ政府委員ノ方カラモ御説明ニナリマシタヤウニ、漸次改良増殖ハ出來テ居ルヤウデアリマスカラ、尙又十分ノ必要ニ迄達シテ居ラナイ、斯ウ云フコトデアリマスガ、此ノ十三年以前ト、ソレカラ最近ノ狀態カラ申シマスト、ドウ云フ風ニ改良増殖サレテ居ルカト云フヤウナ大體成績ヲ承リタイコトガーッデアリマス、此ノ馬匹改良ト云フコトニ付キマシテハ、只今軍部カラモオ述ベニナリマシタヤウニ、軍事上

最モ必要ナコトデアリマス、又此ノ競馬法ニ依リマスレバ、社會事業、貧困者ノ救済トカ其ノ他ノコトニ當ラレマシテ、非常ニ此ノ趣旨ニ副フヤウニ今日ハ進ムデ居ルノデアリマス、サウ云フ點カラ申シマスト、或ハモウ少シ此ノ競馬ニ依ッテ金額ヲ増ス方法ガアルコトガ宜イノデヤナイカ、併シ此ノ現在ノ競馬法ト致シマシテハ、或ハ司法省方面ニ於テモ多少ノ意見ノ相違ガアツテ、社會カラ此ノ組織ニ反對ノ聲モアルヤウデアリマスカラ、殊ニ此ノ競馬即チ馬券ト俗ニ申シマス勝馬投票券ヲ發賣シナケレバ、其ノ外ノ方法ニ依ッテモ馬匹ノ改良スルト云フヤウコトガ出來得マスルカドウカ、又此ノ馬匹改良ニ要シマスル費用、是等ヲ捻出スルノニ、此ノ以外ニ何カ良法ガアリマスカドウカト云フコトヲ承リタイト思ヒマス、今度改正ニナリマスル法案ヲ通讀致シタノデアリマスカラ、是ハ各地ニアリマスル競馬俱樂部ヲ本法ニ依ッテ日本競馬會ト云フ一團ニ爲サレルヤウニナッテ居ルノデアリマス、左様致シマスル趣意ハ私ハ非常ニ好イト考ヘテ居ルノデアリマス、斯様致シマシテ、一ツニ纏メテ、競馬開催其ノ他ノ全部ノ事柄ヲ取扱ハレルコトハ、其ノ馬匹ノ獎勵又馬匹ノ思想ヲ普

及スル上カラ行キマシテモ非常ニ好イト考
ヘルノデアリマスガ、實ハ衆議院ノ委員會
デドウ云フ質問ガアリマシタカ、速記録ヲ
拜見致シマセヌノデ能ク分リマセスガ、一
層進ムデ之ヲ國營ニデモ爲サルオ考ハドウ
云フ風ナノデアリマスガ、此ノ點ダケハ或
ハ大臣カラ御答ヲ願ッたら非常ニ仕合セダ
ト思ヒマス

○政府委員(田淵敬治君) 競馬ノ實施ノ效

果ト致シマシテ、競馬實施前ト、最近ニ於
ケル情況トノ效果ノ現レ方ニ付テノ御尋デ
アリマスガ、競馬ヲ實施致シマシテカラ、
競馬ノ方ノ要求ニ依リマシテ、地方ノ馬産
上ニ及ボシマシタル影響ニ付キマシテハ、
種牡馬方面ニ及ボシマシタル影響及ビ地方ノ
馬産經濟ニ及ボシマシタル影響、サウ云フ風
ナ各方面ノ事項ヲ申上ゲル必要ガアルノデ
アリマスガ、即チ馬改良ノ源泉ヲ爲シマス
種牡馬ノ方面ニ於キマシテハ、種牡馬ノ種
類ガ段々ト進歩シテ參リマシテ、即チ種牡
馬ノ洋種ノ方面カラ見マスルト、昭和九年
ノ調デゴザイマスガ、洋種ノ數ガ從來カラ
見マス……即チ洋種ト申シマス、純粹ノ
種類デアリマスガ、洋種ノ方面ノ情況ガ昭和
九年頃ニ於キマシテ三・二四「パーセント」位
ニナッテ居リマス、是ハ競馬法制定當時ノ情

況カラ見マスルト、相當増加ヲ致シテ居ルノ
デアリマス、ソレカラ雜種ト申シマシテ、
和種ニ洋種ガカカリマシテ出來上リマシタ
モノ、是ハ段々進歩ノ行程ノ途中ニアルモ
ノデアリマスガ、此ノ割合ガ非常ニ増加ヲ
致シマシテ、九二「パーセント」餘リニモ
ナッテ居リマス、ソレカラ反對ニ和種ノ方面
ガ前カラ申シマス、ズット減少致シマシテ
三・八「パーセント」位ニ下ッテ居リマス、斯ウ

云フ風ナ情況デ、種類ノ改良ガ非常ニ進ム
デ參ッテ居ル譯デアリマス、ソレカラ產馬地
ニ於ケル經濟上ノ方面ト申シマスルカ、此
ノ方面ノ影響ニ致シマスルト、是ハ競馬ヲ
致シマスノデ、豫備馬ト申シマシテ馬主ガ
自分デ相當大キナ金ヲ掛ケマシテ買ヒマス
モノ、及ビ抽籤馬ト申シマシテ、各競馬場
ニ一定ノ數ヲ義務ノヤウニ飼ヒシテ居リマ
ス、サウ云フ風ナ關係カラ、相當多數ノ馬
ヲ馬產地カラ買求メマスノデ、其ノ影響ガ
馬產地ニ及ビマシテ、非常ニ馬產地ニ活氣
ヲ呈シテ參ッコトハ、是ハ明カナル事實デ
ゴザイマス、尤モ此ノ點ドウ云フ風ナ工合
ニ來テ居ルカト云フコトハ計算ガ甚ダ困難
デアリマスカラ、茲デ申上ゲルノハチョット
困難デゴザイマスガ、一般的ニ見マシテ非
常ニ活況ヲ呈シテ參ッコトハ、是ハ競馬ニ

依ル效果ノ大キナ所ト考ヘテ居リマス、ソ
レカラ勝馬投票券ヲ賣上ゲマスル其ノ金額
關係ハオ手許ニ只今表ヲ廻シ致シマシタ
所ニ書イテ置キマシタデスガ、昭和十年度
ニ於キマシテ大體豫算面ニ於キマシテ五百
二十六萬圓バカリニナッテ居リマス、初メ競
馬法ガ制定セラレマシタ、當初ノ時ニハ三
萬圓ノ收入豫算ヲ計上致シタヤウナ情況デ
アリマスガ、段々ト順ニ殖エテ參リマシテ、
五百二十六萬圓バカリニナッテ居リマス、
發賣額ノ方モソコニ表ヲ差上ゲテ置キマシ
タ、約一億圓ニ達スル、十一年度ニ於キマ
シテハ一億圓ニ達スルヤウナ見込デ居リマ
ス、ソレカラ競馬ヲ實施致シマスル必要ト
言ヒマスガ、實施致シマスノハドウ云フ風
ナ關係カト申シマスルト、是ハ他ニモ御話
ノ通りニ馬ニ對スル施設トシテハ、他ノ方
法モ勿論考ヘラレル譯デアリマスガ、即チ
政府納付金ノ關係ナシカニ付キマシテハ、
是ハ一般方面ノ經費ト同ジヤウナ意味ニ於
テ、一般財源ト云フコトモ考ヘラレル譯デ
アリマスガ、此ノ競馬ノ眞ノ機能ト申シマス
ソハ、是ハ馬ノ有スル實際ノ能力ヲ現實ニ發
揮セシムルト云フノニハ、是ハ競馬ニ依ル
外ニ殆ド方法ガナイノデアリマス、競馬デ

勝馬投票券ヲ賣リマシテ多クノ人ガ非常ナ
關心ヲ持ッテ見テ居ル、其處ニ寸分ノ緩ミノ
ナイ競走ヲシテ、サウシテ馬ノ種々ノ能力
ヲ認メテ、サウシテソレヲ以テ馬ノ能力ノ
良イモノヲ種馬ニ廻シマシテ、ソレデ馬ノ
改良ノ根幹ヲ爲シテ行クト云フ意味ニ於キ
マシテ、即チ競馬ハ馬ノ能力ノ最モ完全ナ
ル試驗機關デアルト云フ風ナ意味カラ、競
馬ニ依ラザレバナカノ外ノ方法デハソレ
ハ得ラレナイノデアリマス、競馬ノ眞ノ目
的ト云フノハ、此ノ公認競馬ニ於キマシテ
ハ、馬ノ能力ノ試驗、即チ能力ノ判定ト云
フコトガ最モ大キナ理由ニナッテ居リマス、
其外結果ト致シマシテ、ソレニ伴ヒマス政
府納付金等ニ依リマシテ、馬ノ改良増殖ニ
裨益スルコトハ、是ハ勿論デアリマスガ、
眞ノ競馬ノ機能ト申シマスノハ能力ノ檢
定、斯様ニ考ヘテ居リマス

○國務大臣(島田俊雄君) 只今風間君ノ御

尋ノ中ノ競馬ヲ國營ニスル點ニ付テノコト
ハ、大臣ヨリ答ヘシタガ宜カラウト云フ御
言葉デアリマシタ、是ハ提案理由中ニモ申上
ゲマシタ如ク、本案ノ基礎トナルベキ事柄ハ
馬政調査會ニ於テ審議ヲ致シマシテ、此ノ馬
政調査會ニ於テ各方面カラ觀察致シマシテ、
現在ノ十一ノ競馬俱樂部ヲ統一シテ、此ノ
改正案ノ趣旨ニ依ッテ、日本競馬會ヲシテ之

ヲヤラシメ、政府ハ之ニ對シテ監督ヲ行フテ行クト云フコトニナツタノデアリマシテ、現在此ノ法律ニ依リマシテ、此ノ方法ニ依ッテ之ヲ實施シマシテ、是ガ第二次ノ馬政計畫ノ實施ニ伴ッテ行ハレマシタ其ノ成績ニ依リマシテハ、他日又ソレ等ノ點ニ付テ考究ヲ加ヘラレルコトト考ヘラレマスケレドモ、現在ニ於テハ直チニ之ヲ國營ニマデ進メルト云フコトニ付テハ考慮シテ居リマセス

○政府委員(磯谷廉介君) 先ノ御尋ノ競馬ガ軍馬ノ方面ニドウ云フ……軍馬ノ改良方面ニ對シテドウ云フ影響ガアツカト云フ御尋ニ對シマシテ御答ヘ致シマス、從來軍馬以外ニ於キマシテ殆ド需要ノアリマセヌデシタ乗馬ノ生産、之ニ非常ナ刺戟ヲ與ヘマシテ、其ノ改良發達ヲ促シタト云フ跡ハ歴然タルモノガアル次第デゴザイマス、併シ然馬ノ生産ニ關シマシテハ、尙貢獻スル所ガマダ十分トハ言ヒ難イ點ガアル次第デアリマス、尙具體的ナ影響ニ付キマシテハ説明員カラ細カク御説明申上ゲタイト思ヒマス

○説明員(吉田愚君) 過去ニ於ケル馬ノ進歩ハドウ云フ風デアツカト云フ御尋ノヤウデアリマシタガ、馬ノ資質ノ變化ノ狀態ヲ數字的ニ申上ゲルコトハ誠ニ至難ナ事柄

デアリマシテ、唯此處デ大綱ダケニ付テ申上デレバ、或程度ノ數ヲ申上ゲラレルノデアリマスガ、馬政計畫開始當時、明治三十九年ノ軍馬ノ一般ノ體高ト云フモノハ、一「メートル」四十七位デアリマス、ソレガ第一次ノ第一期十八年ヲ經過シマシテ、第二期ニ入りマス當時ニ於テ一「メートル」五十四程度デアリマス、尙第二次ニ移リマス末期ニ於キマシテ多少馬ノ高サガ高過ギルト云フノ制限ヲシタノデアリマスガ、一「メートル」五十五附近デアリマス、馬ノ改良ニ於テハ、著シク大キクナツテ居ルト云フコトガ觀察サレルノデアリマス、馬ノ能力ニ於キマシテハ日露戰爭當時、我が騎兵ガ露軍ノ馬ノ能力ニ對シテ著シク劣ッテ居ル爲ニ、作戰上多大ノ支障ヲ蒙ッタト云フコトハ顯著ノ事實デアリマス、爾後實際ノ戰場ニ此ノ改良セラレタ馬ヲ持ッテ臨ムダコトハ極メテ少イノデアリマスガ、今回ノ事變ニ於キマシテ、相當廣範圍ノ活動ヲシマシタ結果、軍ノ持ッテ居リマス平時保管馬ハ、殆ド作戰的行動ニ追隨シテ遺憾ナク任務ヲ果シ得ルト云フヤウニ觀察セラレテ居リマス、併シ對抗軍ノモノガ土匪デアリマシテ、其ノ持ッテ居ル馬ガ極メテ劣格ナル支那馬デアリマスカラ、是ト比較スルコトハ出

來ナイノデアリマスガ、現在活動シマシタダケノ狀態カラ見マシテ、少クトモ平時保管馬ニ於キマシテハ、蘇軍ノ馬ノ能力ニ對シテ遜色ナイト云フ程度ノ確信ヲ持ッテ居ルノデアリマス

○風間八左衛門君 チョット續キデスカラ……只今ノ御答ニ依リマシテ、大體此ノ競馬ニ依ルコトガ、最モ馬匹ノ改良ニ效果ガアルト云フ意味ニ拜承致シタノデアリマス、左様致シマス、此ノ馬匹ノ改良等ニ農林省デ御使ヒニナツテ居ル金ハ、參考書ヲチヨット拜見致シマシタガ、能ク分リマセスガ、只今政府納付金ノ十年度ハ五百三十何萬圓デアリマスガ、其ノ四分ノ三デ大體目的ノヤウニ行ヒ得テ居ルノデアリマスガ、尙矢張り金額ヲ増スト云フコトガ益、必要デアルト御考デアリマスカ

○政府委員(田淵敬治君) 御答ヘ致シマス、現在ニ於キマシテ農林省所管ノ關係及ビ馬ニ關シマス經費デ大藏省、内務省ニ交渉ガアツタ、其ノ經費ヲ合セマシテ即チ馬ニ關スル關係省ノ豫算ヲ全部合セマシテ、昭和十一年度ニ大體六百八十萬圓バカリニナツテ居リマス、殆ド大部分ガ農林省デゴザイマスガ、六百八十萬圓バカリニナツテ居リマス、此ノ昭和十年度カラ昭和十一年度ノ豫算ニ計上

致シマシテ御協賛ヲ經タク考ヘテ居リマス、新ナ經費ト致シマシテハ、其中デ大體百九十萬圓、百九十萬圓ガ新ナル經費トシテ御協賛ヲ求メテ居ル次第デアリマス、其ノ外ハ從來ノ經費ナノデアリマス、競馬カラ上リマス金ハ、御手許ニ御配付申シマシタ表ノヤウニ、十一年度ニ於キマシテ、六百六十萬圓バカリニナルノデゴザイマスガ、競馬ノ費用ノ中、一部分ハ社會事業ノ方ニ廻ッテ居ルヤウナ關係上、競馬ノ收入以外ニモ一般經費カラ馬ニ廻ッテ居ルモノガ相當アルノデゴザイマス、ソレデ是マデノ情況ハ、サウ云フ事情デゴザイマス、將來ドウ云フ風ナ金ガ必要デアルカト云フオ尋ノヤウデゴザイマスガ、御承知ノヤウニ昭和十年度迄デ、明治三十九年ニ樹立サレマシタ馬政第一次計畫ガ終了致シマシテ、昭和十二年度ヨリハ馬政第二次計畫ガ實施サレルコトニ相成ツタノデゴザイマス、馬政第二次計畫ニ於キマシテハ第一次計畫ノ成果ニ基キマシテ、計畫ガ昨年馬政調査會ニ於テ慎重審議ノ上立案サレタノデアリマスガ、其ノ第二次計畫ノ實施ニ當リマシテハ、從來ノ施設以外ニ相當大キナ施設ガ要求サレテ居ルノデアリマス、軍ノ情況カラ色々ト軍事上ノ御要求ガ陸軍ニ於テモ發セラレマス

シ、又農村ノ經濟ト云フ方面カラ、農林省ト致シマシテモ補助施設等ニ付テハ十分ナ考慮ヲシナケレバナリマセスノデ、サウ云フ風ナ方面カラ相當ノ金額ヲ要スル、此ノ第一次計畫ニ於キマシテハ從來國デ經營ヲ致シマスル種牡馬ハ千五百頭デアリマスガ、第二次ノ計畫デハソレヲ倍ニシテ三千頭ト云フ風ニナツテ居ルヤウナ事項モゴザイマシテ非常ナ金ヲ要スルノデアリマス、昭和十一年度ニハ其ノ第二次計畫ガ第一年度ト致シマシテ六月以降ノ經費ニ百九十萬圓バカリノ増加ヲ見タ譯デアリマスガ、二年、三年ト進ムデ參リマスレバ、此ノ上更ニ相當多額ノ金額ヲ計上シナケレバ、馬政第二次計畫ノ遂行ハ困難カト考ヘテ居リマス譯デアリマス

○風間八左衛門君 只今ノ御説明ニ依リマス、將來經費ヲ益、要スルヤウデアリマスガ、此ノ參考書ヲ見マス、昭和十一年度ニハ增收ニナルベキオ示シニナツテ居ルノデアリマス、其ノ中ニ自然增收ト云フモノガ三十五萬餘圓トナツテ居ルヤウデアリマスガ、是ハ矢張り斯ウ云フ風ナ日本競馬會トシテ一團ト爲サレテ、サウシテ各地ニ競馬ヲ開催ナサル、サウ云フ風ニナリマシテ、是迄ヨリモ俗ニ申シマス馬券ノ賣上高ト云

フモノガ減ル虞ヘナイノデアリマセウカ、又能ク耳ニシ又新聞紙上ニモ見マスガ、カナカ違反者ガ日ニ數十名モ各競馬開催ノ時ニ出ル、サウ云フモノニ對シマシテハ、各、其ノ違反行爲ガ異ナルコト思ヒマスガ、聞イテ居リマス所ニ依リマスト吞屋トカ俗ニ申シマシテ、正式ニ馬券ヲ買ハナイデ、サウシテ自分デ勝手ニ賣買、取引ヲシテ居ルト云フヤウナ行爲ガアル、ソレヲ能ク聽イテ見マス、只今ノ馬券ノ金額ハ二十圓ト云フコトニナツテ居ル、此ノ法律デハ五圓以上二十圓以下トナツテ居ルノデアリマスガ、矢張り何ト申シマスガ、收入ヲ多ク致ス爲ニハ、大體何處モ二十圓カト思ッテ居リマスガ、或ハ二十圓以下ノ所ガアリマスレバオ示シテ願ヒタイト思ヒマスガ、二十圓ニ致シマスコトハ、其ノ一枚ヨリ一競馬毎ニ一人ガ買ヘナイ、斯ウ云フ風ニ限定セラレテ居ル爲ニ、其ノ俱樂部ガ二十圓ト致ス、今後日本競馬會ト爲サル時分ニハサウ云フ風ニ爲サラズニ、矢張り所ニ依ッテハ五圓券ヲ發行ナサルト云フオ考ガアルデセウカ、左様致シマスレバ、或ハ收入ノ點ハ斯ウ云フ風ナ自然增收ニハナラヌノデアリマスガ、此ノ邊ニ付キマシテ先ヅ承リ、後ニ尙一點伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(田淵敬治君) 御答ヘ致シマス現在競馬ノ實施ニ付キマシテハ、政府ノ方ニ於キマシテモ色々工夫ヲ致シマシテ監督ヲ致シテ居ルノデゴザイマスガ、ア、云フ混ミ合ヒノ場合デゴザイマスノデ、不都合ノ者ガ出ルコトノ免カレマセヌヤウナ情況ニアルコトハ、誠ニ遺憾ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、此ノ法律ヲ御協賛ヲ願ヒマシテ施行致シマシタ場合ニ、規則ノ履行ヲ從來ヨリモ尙一層嚴重ニ致ス爲ニ、收入ニ動キガ來ナイカト云フヤウナ御尋ノヤウデゴザイマスルガ、ソレハ左様ニハナラナイガラウト考ヘテ居リマス、ト申シマスノハ違反者ガ多少出マスコトハ、是ハ現在ニ於キマシテモ色々致シテ居リマシテモサウ云フ風デアリマスガ、其ノ方ハ尙一層十分ニ取締ヲ致シマスガ、最近ニ於キマシテ、競馬ノ賣上高ノ段々ト増加致シテ參リマシタコトハ、割合ニ是マデ一人々々、一人ノ券面金額ト云フヨリモ、結局入場致シマス人ガズツト殖エテ參ッテ居ルヤウナ情況デ、ソレガ餘程大キナル因ヲ爲シテ居ルヤウニ考ヘマス、ソレデ増加割合ヲ是迄ノ計數ニ取ッテ見マスト、大體一定ノ率ニ依ッテ増加ヲ致シテ參ッテ居ルヤウナ情況デアリマス、是ハ將來ノ統制強化、改善刷新ヲ致シマスレバ、

競馬ガ非常ニ嚴正ニ行ハレテ、所謂八百長ト云フヤウナコトモ防ゲテ參リ、勝馬投票券ヲ買フ方ノ人カラ見マスルト、非常ニ安心ノ情況ニナルノデアリマスカラ、左様ナ方面カラ致シマシテ、取締ニ依リマシテ減ズルト云フヤウナコトガ幾分アリマシテモ、其ノ増加ト云フヤウナモノハ大體政府ノ見込ムデ居リマス位ノ増加ハ確實ニアルモノト考ヘテ居リマス、ソレカラ小額ノ五圓或ハ十圓ノ券面ノモノヲ賣ッテ居リマスノハ、現在デハゴザイマセヌガ、元ハ地方ノ俱樂部デ賣ッタコトモゴザイマス、是ハ從來ハ各ノ競馬場ノ收入ニモ關係ヲ致シマスノデ、賣ッテ見マシタガ、途中デ止メタト云フヤウナ情況ニナツテ居リマスガ、將來ノ實行ニ當リマシテハ、是ハ一ツノ法人ニナツテ參リマス、其ノ邊ノ關係ナンカハ將來ノ實行ノ際ニ十分考慮シテ行クコトガ出來ヨウカト考ヘルノデアリマス、吞屋ノ關係ハオ話ノ通りニ券面金額ノ關係ニモ依リマスガ、其ノ外ノ事情ニモ相當原因致シテ居ルト考ヘテ居リマシテ、吞屋ノ防止ト申シマスガ、退治ト申シマスガ、其ノ方ニ付キマシテモ從來モ努力ハ致シテ居ルノデアリマスガ、將來尙一層注意ヲ致シマシテ、サウ云フ違反行爲ノナイヤウニ期シタイト考ヘテ居ル

次第デアリマス

○風間八左衛門君 只今ノ御説明ニ依リマシテ、此ノ俗ニ申シマスル馬券ノ券面額ヲ、

將來ハ或ハ五圓、十圓ト云フ風ナモノモ考

慮スル、サウ云フオ話ノヤウニ伺ツタノデア

リマスガ、ソレハ非常ニ結構ダと思フノデア

アル、現在競馬ニ入場シテ居ルモノヲ大體

見マシテモ、聞キマシテモ、二十圓ト云フ

コトハ少シ現在ノ民情カラ高過ギヤシナイ

カ、ソレガ爲ニドウモ一枚買ウンデヤ困ル、

二人三人四人ト云フ風ニ組ムデ、モ買ヒタ

イ、ソレガ已ムヲ得ナイカラ、呑屋ニソレ

ヲ渡スト云フヤウナコトガ起ル原因デナイ

カと思フノデアリマス、併シ只今ノオ話ノ

ヤウニ、五圓、十圓、二十圓ト云フ風ニ、

開催ノ場所ニ依ッテ御考慮ナサルコトハ非

常ニ結構デアリマスガ、サウ致シマス、

先キオ述ベニナツタヤウニ、此ノ收入ガ餘程

減ジテ來ルノデナカラウカ、其ノ點ハ非常

ニ疑ハシク思ヒマスシ、又減ズルト我々ハ

存ズルノデアリマス、從テ此ノ五圓券ヲ發

賣スルヤウナ場合、一人ニ一枚ト云フヤウ

ナ制限ヲシナイデ、其ノ分ニ對シテハ四枚

マデ買ヘルト云フヤウナ風ニ將來オ考ヘニ

ナル御意思ガアルデゴザイマセウカ、ドウ

デゴザイマセウカ、即チ此ノ法案デ申シマ

スト、此ノ四條、六條、斯ウ云フモノノ改
正ノ御意思ガアルノデアリマスガ、ドウデ
スカ

○政府委員(田淵敬治君) 只今オ話ノ關係

デゴザイマスガ、地方ノ札幌デアリマス

カ、函館デアリマス、新潟デアリマス

トカ、或ハ宮崎方面ノヤウナ非常ニ僻遠ノ

地ニ於キマスル競馬ノ收入ハ極ク殆ド問題

ニナラヌモノデゴザイマシテ、昭和十年度

ハ春秋兩方トモ改正法ガ適用ニナツテ居リ

マスガ、假ニ昭和十年度ニ於テ見マシタ所

デ、札幌ノ方トカ新潟、函館トカ、宮崎ト

カ云フ方ノ極ク小サイモノノ收入ト云フモ

ノハ僅カニ七百二十萬圓餘リノ收入ヲ見タ

ノデアリマスガ、其ノ中ノ五六萬圓ノモノ

デアリマス、全部合セマシテ……競馬ノ收

入ノ大部分ハ五ツ六ツノ競馬デ舉ッテ居リ

マシテ今申シマシタヤウナ地方ハ全體合セ

マシテ斯ウ云フ風ナ極ク微々タル殆ド問題

ニナラヌ數字デアアルノデアリマス、ソレカ

ラ小サナ券面ノモノヲ地方ノ極ク小サナ即

チ極ク邊鄙ナ所デ賣ルカ賣ラヌカ、是ハ十

分ニ考慮シテ、研究スベキ問題デアリマス

ガ、若シ此ノ五圓トカ十圓トカノ券面ノモ

ノヲ賣ルト致シマシタ場合ニ、數枚ニ分ケ

テ賣レルカト云フコトデアリマスガ、是ハ

現在ノ規定ニ於キマシテモ又只今御審議ヲ
願ッテ居リマスル點ニ於テモ、一人デ買ヒ得
ル枚數ハ一枚ト云フコトニナツテ居リマス
關係上、數枚ニ切ツテヤルト云フコトハ規定
ノ解釋上、餘程考究ヲ要スルヤウニ考ヘル
ノデアリマス

○風間八左衛門君 只今ノ御答辯ハ一向實

ハ能ク了解シ兼ネル點ガアルノデアリマス

ガ、マアソレハ此ノ程度ニシテ置キマス、

サウ致シマシテ、日本競馬會ガ十一箇所デ

開催致シマスル此ノ費用デアリマスガ、是

ハ參考書デ拜見致シマシテ、大體下ノ位ノ

費用ニナリマスガ、實際第九條ニ依リマス

百分ノ十五、其ノ中政府ニ納メマス此ノ新

法デ參ルト、ハヲ引キマシテ、残りノ七デ

十七ニ賄ヒ得ルノデアリマスガ、ドウ云フ

風ナ御調査ニナツテ居リマスガ、能ク御解リ

ニナラヌノデアリマスガ

○政府委員(田淵敬治君) 今回八分以内ニ

引上ゲマシタ場合ニ、各俱樂部ニ付キマシ

テ、ドウ云フ率ガ適用ニナルカト申シマス

ルト、從來モ發賣金額ガ一日平均二十萬圓

以下ノ所デゴザイマス、百分ノ一納付金

ニナツテ居リマシテ、從來ハ一日平均六十五

萬圓マデ賣リマシタ場合ニ、百分ノ六取ッテ

居リマシテ、其ノ間ガズツト漸増ニナツテ居

ル、一カラ六マデ漸増ニナツテ居リマス、デ
スカラ將來今度ノ改正ニ依リマシテ、百分
ノ八マデ納付致シマスルヤウニスル場合ニ
モ、矢張り澤山ニ賣リマス場合、即チ一日
平均百萬圓賣レル所ニナリマス、百分ノ
八ノ納付ニ致シマシテ、ソレカラ賣高ノ少

イニ從ヒマシテ自然段々ト下ツテ居ル、斯ウ

云フ計算ヲ以テ納付スルコトニ致シマスノ

デ、各俱樂部ガ此ノ改正ニ依リマシテ、從

來ノ賣方ヲ考ヘテ參リマシテ、統一ニナツテ

シマヘバ全部一緒デゴザイマスガ、統一ニ

ナルマデノ經過ノ場合ニ於キマシテモ、各

俱樂部ガ收支ノ關係ニ於テ困ルヤウナコト

ノナイヤウニ總テノ計算ヲ致シテ居リマス

○風間八左衛門君 尙サウ云フ點ニ付キマ

シテ七デ賄ヒ得ルコトデアリマセバ、將來

段々此ノ參考書カラ見マシテモ、納付金ノ

額ガ増加スルノデゴザイマスガ、斯様ニ致

シマス、段々金額ガ殖エテ來ル、所謂金

額ガ殖エテ來ルト云フコトニナルト、七デ

モ金ガ餘ッテ來ル、斯ウ云フコトニナレバ、

斯ウ云フ趣旨ノ競馬法カラ見マシテモ、政

府ニ納付致シマスルハ九、十ト云フ風ニ

段々上ゲテ行ツタ方ガ宜イデヤナイカ、出來

タダケ儲ツタモノハ政府ニ納付サシタラ宜

シイデヤナイカ、斯ウ考ヘルノデアリマ

スガ、サウ云フ風ノ御考ハ、今回六ヲハニ
ナサツト同様ニ、實情ニ置キマシテハ將來
之ヲ競馬會其ノモノノ財産上ノ増加ト云フ
ヤウナコトノミヲオ考ヘニナラナイデ、
サウ云フ納付金ヲオ取リニナルオ考ハアル
ノデアリマスガ

○政府委員(田淵敬治君) 御尤オ尋デア
リマシテ、此ノ點ハ此ノ立案ニ付キマシテ
モ、十分ニ我々考慮ヲ致シテ立案ヲ致シテ
居ルノデアリマスガ、ソレハ將來賣上ニ非
常ナ變化ヲ來シマシタ場合ニハ、當然法律
ノ改正ヲ伴フ譯デゴザイマスガ、將來相當
ノ變化ヲ來シテ、改正ヲスルマデニ俱樂部
ニ金ガ溜マル、即チ今度ノ日本競馬會ニ變
更改シマシタ場合ニ、日本競馬會ニ大キナ
金ガ溜マルヤウナ場合ニハ、ソレニハ相當
ノ處置ヲ講ズル必要ガアリマスノデ、第八
條ノ二項ト致シマシテ日本競馬會ニ保有致
シマスル資金ヲ大體定メマシテ、其ノ資金
ハ一定ノ最高額ヲ超エマシタ場合ニハ、其
ノ超過額ヲ政府ニ納付サセルコトノ出來ル
ヤウナ規定ヲ設ケマシテ、ソレデ將來ノコ
トニ付キマシテハ、率ノ變更デ參リマスル
シ、率ノ變更ノ起ルマデニ溜リマシテ、一
定額以上ニ起シマシタモノハ、ハ政府ガ
納付セシメルコトノ出來ルヤウナ規定ヲ今

回新ニ加ヘマシタヤウナ次第アリマス

○風間八左衛門君 只今ノ御説明ハ非常ニ
結構デアリマシテ満足致シマスガ、先程御
答ヘニナリマシタ、茲デ申シマス第四
條、第六條ト云フコトニ關シマシテハ、大
體現狀ノコトカラ考ヘマシテ、果シテ先程
ノ御答辯ノヤウナコトガ適スルカドウカ、
私非常ニ其ノ點疑問ヲ持ツノデアリマス
ガ、更ニ御考置キラ願ヒタイト思フノデア
リマス

○松村眞一郎君 此ノ度ノ改正案ノ提案ノ
理由書ヲ見マス、競馬ノ現況ニ鑑ミテ、
競馬ノ機關其ノ他ニ付テノ改正ヲスルト云
フコトノ外ニ、政府納付金ニ關スル改訂ヲ爲
スト云フコトニナッテ居ル譯デアリマス、政
府納付金ニ關シ改訂ヲ爲スト云フノハ、即
チ百分ノ六ヲ百分ノ八ニ爲スコトデアルト
思フノデアリマスガ、ソレハ競馬ノ改良ノ
爲ニ百分ノ八ニスルノデハナイト思フ、六
ヲ八ニスルコトガ競馬ノ改良ニナルコト
ハ、マサカ私ハナイト思フ、勿論勝馬投票
券ガ澤山賣レル所ニ或程度率ヲ大キクスル
ト云フ意味ノ改良ハ勿論アルト思ヒマス、
詰リ澤山賣レル俱樂部ト少ク賣レル俱樂部
トハ同ジ率デ、百分ノ六ヲ最高限度トシタ
納付ノヤリ方ヨリモ、多ク賣レル方カラハ

多ク取ツタ宜カラウト云フ意味ニ於テノ
百分ノ八ノ改正ノ理由モアルト思ヒマス
ガ、ソレハ併シ要點デハナクシテ、百分ノ
六ヲ八ニスルト云フノハ、競馬ノ改良ノ爲
ニナルト云フヨリモ財源ガ必要デヤナイ
カト思フ、一體競馬法ノ改正ハ二ツノ事ヲ
目標ニシテ居ルト思フ、競馬其ノモノノ改
良ト、納付金ヲ増加スルト云フコトニ依ッテ
財源ノ増加ヲ圖ルト云フノ二ツガアルト思
フ、ソコデ財源ノ關係ハモウ少シ陸軍省ノ
御説明ヲ得タイト思フ、先程色々詳シク承ッ
タノデアリマシテ、日露戰爭當時ノ狀態カ
ラ比ベテ戰時所要頭數ガ五倍位ニナル、斯
ウ云フ數字ノ御説明ガアツタ譯デアリマス、
併シナガラ一面近頃ノ軍事方面ニ於ケル機
械化ト云フモノガ非常ニ盛ニ行ハレテ居ル
ト云フコトモ今御説明ニナリ、從テ民間ニ
於テノ平時ノ用途モ少クナッテ居ルト云フ
コトモ言ッテ居ラレル譯デアリマス、サウ云
フ關係カラ申シマス、何故五倍ニナルカ
ト云フコトヲモウ少シ具體的ニ仰シヤッテ
戴カスト、此ノ馬ト云フモノガソレ程軍
隊ニ於テハ、日露戰爭當時ヨリモ絕對數ト
シテ五倍ニモ必要デアルト云フコトニ付テ、
モウ少シ了解シテ置クコトガ必要デハナイ
カト思フ、其ノ點ヲモウ少シ御説明ヲ具體

的ニ願ヒタイ、ソレデ結局五倍モ要ル、數
ノ方ニ於テ非常ニ軍隊ノ方デハ要望ガ痛切
ニ來ルト共、質ノ向上モシナケレバナラス
ト云フノデ、兩方ノ要望ガ非常ニ強イ譯デ
アル、所ガ馬ノ統計ヲ見ルト百五十萬頭維
持ト云フコトデ多年ヤッテ來タ、色々經濟上
ノ方面ノ施設ヲシテ補助ヲヤッテ見デモ、馬
ハドウモ増加シナイト云フノガ現狀デアリ
マス、今オ話ニナリマシタ如ク平時ノ用途
ガ減ルト云フコトモ一ツデアルト思フ、ソ
レト同時ニドウモ馬ハ經濟上引合ハナイ、
馬ヲ使フカ牛ヲ使フカト云フコトニナリマ
スト、農業ノ方ニ畜産ヲ加味スル場合ニド
ウモ牛ノ方ニ行ク、自然馬ハ經濟上引合ハ
ナイ、併シナガラ馬ハ要ルト云フコトデ、
斯ウ云フコトデ問題ガ馬産ノ方面ニ於テモ
難問ガ横ハッテ居ルカラ、自然或ハ補助金ヲ
増ストカ、繋畜料ニ付テ考ヘルトカ、牧野ヲ
ドウスルカト云フコトデ、金ガドウシテモ
要ルコトニナルト思フ、其ノ關係ガ第二次
馬政計畫トノ間ニ、軍事上ノ餘程ノ要望ガ
根柢ニナッテ居ルノデヤナイカト思フ、競馬
法其ノモノヲ見ルト軍ト云フコトヲチヨッ
ト感ジナイ、競馬法其ノモノヲ端的ニ見マ
スト……、所ガ競馬法デ取締ル馬券ノ問題、
更ニ馬券ヲ賣リマス時ノ競馬ノ本質其ノ

モノト云フモノガ、實ハ先程御説明ニナツタ如ク乗馬ト非常ニ關係ガアル、結局馬ノ保有ニ關係ガアル、馬ノ能力檢定ノ外ニ馬ノ保有ニ關係ガアルノデアリマス、其ノ馬ハ何ノ爲ニ保有シ、何ノ爲ニ檢定スルカト云フコトハ軍事上ノ必要ニナツテ居ル、ダカラ馬産ハ國防ガ根柢ニナツテ居ル、經濟上ノ方ノ議論ヨリモ國防上ノ必要ガ目的ニナツテ居ルト思ヒマス、竝ニ第二次馬政計畫ヲ立テテ、サウシテ何トカシテ馬ノ資源ヲ涵養シ、充實シナケレバナラヌト云フコトガ要點デアル、ソレガ先程御配付ニナツタ第二期馬政計畫綱領ニ明確ニ書イテアルノデアリマス、ソレハ第一次馬政計畫ト違フテ、此ノ第二期ノ計畫ヲ見マス、此ノ場合ニハ此處ニ御配付ニナツタ此ノ十七頁ニ書イテアル「國防上及經濟上ノ基礎ニ立脚シ」ト國防ト經濟ヲ兩立的ニ書イテアリマスガ、今度ハ全然國防本位デアリマス、ソレ程經濟上ノ問題ヨリモ經濟上成立ツカ、成立タスカハ問ハズ、ドウシテモ軍事上必要デアルト云フコトガ、其ノ根柢ニ横ハッテ居ルノデヤナイカト思フ、此ノ馬ノ保障ノ爲ニ第二期馬政計畫ヲ確立シ、殊ニ有能、優秀乗馬ト云フコトニナレバ競馬法デ以テヤル外ニナイノデ、其ノ關係カラ競馬法ト云フモ

ノヲ眺メテ居ルヤウニ私ハ思フノデアリマス、サウナリマス競馬法其ノモノガ問題デアル、馬政計畫其ノモノガ國防上ニ立脚シテ居ルト云フコトニナリマスカラ、馬ガ國防上非常ニ必要デアルト云フ認識ヲ高メルト云フ必要ガアルノデアリマス、所ガ競馬法ヲ讀ムデモ國防ト云フ字ガ何處ニモナイ、世人ハ能ク之ヲ諒解シテ居ナイ、今日ハ馬ト云フヤウナ問題ハ時代遅レデアルガ如ク考ヘサセラレル場合ニ於テ、其ノ馬ガ如何ニ重要デアルカト云フコトヲモ、ウ少しモ一種ノ馬事思想ノ普及ニナルノデヤナイカト思ヒマスガ、其ノ普及ガ足リナイト思フカラ、其ノ點ヲモウ少し明確ニ御説明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、結局、是ハ百分ノ六ヲ百分ノ八ニスルト云フコトガ、第二期計畫ノ遂行上、其ノ金ガ必要デアルカラ、茲ニ其ノ財源トシテ改正案ヲ提出シタト云フコトガ原因デアルト私ハ思フノデアリマスガ、サウデアアルカドウカ、詰リ何ノ爲ニ財源ノ方ノ關係ノ競馬法ヲ改正スルノデアルカ、是ハ國防上必要デアアルカラト云フヤウニ了解サレルノデアリマスガ、其ノ點ニ付テ陸軍ノ方ノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(磯谷廉介君) 只今ノ御尋ノ馬ノ必要性ト云フコトニ付キマシテ具體的ニ申上ゲマスルト、軍事上此ノ馬匹ノ必要デアルト云フコトハ、機械力ノ利用ガ盛ニナリマシタ今日ニ於キマシテモ、軍事上カラ見テ何等其處ニ變リハナイト言ヘルノデアリマシテ、益、馬ノ數ノ増加ノ必要ヲ感ジテ居ル次第デアリマス、ソレハ一ツハ兵團數ガ著シク増加シテ參ッテ居リマスノデ、自然馬ノ數ガ増加シテ來テ居ルノト、ソレノミナラズ現在ノ裝備ニ於キマシテ、即チ兵器資材、ソレヲ増加ト、又是等ノ變化ト云フコトニ依リマシテ、自然ニ馬ノ數ヲ著シク増加シテ來タ次第デゴザイマス、其ノ比率ヲ申上ゲマスルト、過去ノ戰役ニ於キマシテ出征人馬ノ比率、之ヲ御參考ニ申上ゲマスルト、日露戰爭ノ時ニハ一・九・七一ト云フ關係ニアリマスノガ、歐洲大戰ニ於キマシテハ三七・〇〇ト云フ比率ニナツテ居リマス、滿洲事變ニ於キマシテハ、事變ガ小サイノデアリマスルガ、二五・四七ト云フヤウナ比率ニナリマシテ、比率ニ於キマシテハ日露戰爭ノ時ヨリモ遙カニ多クナツテ居ルト云フヤウナ情況デゴザイマス、而モ此ノ中ニハ輜重兵站部ト云フヤウナモノハ含シテ居リマセヌ、以上ノヤウナ關係デアリマシテ、殊ニ今後我ガ國軍ガ豫想シテ居リマ

ス戰場、即チ作戰ノ地域、ソコノ地形、交通ノ狀態竝ニ機械裝備ノ不十分ナル現在ノ裝備ト云フヤウナ點カラ考ヘマシテ、馬ノ必要性ト云フモノハ將來ニ於テ非常ニ大ヲ加ヘテ居ルノデアリマス、又馬ノ資質ニ於キマシテモ、兵器、戰術ノ進歩ニ伴ヒマシテ、益、馬ノ負擔力トカ持久力トカ云フヤウナモノガ向上ヲサレマシテ、自然良資質ノモノヲ必要トスル趨勢ニアルコトモ爭ハレナイノデゴザイマス、尙戰役當時ノ……今同ノ事變ニ於キマシテノ經驗カラ申上ゲマシテモ、御承知ノ通り馬占山討伐當時ノ如キハ、騎兵ノ第一旅團ガ主トシテ行動ヲ致シタノデアリマスガ、其ノ時ニ砲兵等ヲ同行スルコトガ非常ニ必要デアッタノデアリマスガ、騎砲ノ如キハ遂ニ騎兵第一旅團ノ行動ニ同行スルコトガ出來ナカッタヤウナ狀態ニアッタノデアリマシテ、戰車デアルトカ或ハ自動車或ハ牽引砲兵、或ハ乘車歩兵ト云フヤウナモノヲ主體ト致シテ居リマス所ノ機械化部隊ト云フヤウナモノハ、戰場ニ於キマシテモ、馬占山討伐ノ時ニモ經驗ヲシタコトデアリマスガ、地形上殆ど戰場ニ使フコトガ出來ナイ、其ノ威力ヲ發揮セシメルコトガ出來ナカッタト云フヤウナ狀態デゴザイマス、尙此ノ軍ニ於キマシテハ、

今日尙歩兵ト云フモノガ軍ノ主力デゴザイマシテ、主體デゴザイマシテ、騎兵ハ依然トシテ機動兵團ト申シマスルカ、機動力ヲ備ヘタ所ノ兵團デゴザイマシテ、此ノ價值ヲ發揮致シマスルノニハ、何トシテモ馬ト云フモノヲ主體ニシナケレバナラス次第デゴザイマス、ソレカラ外ノ列強ノ最モ機械化シタ國ト稱セラレテ居ル、例ヘバ「ソ」國デアルトカ、或ハ「フランス」デアルトカ云フヤウナ所ニ於キマシテモ、今日騎兵ノ兵團ヲ有シテ居ル數ハ、「ソ」國ニ於テモ騎兵ガ二十師團ニナッテ居リマス、「フランス」ニ於キマシテモ騎兵ハ五個師團ト二個旅團ト云フヤウニ、相當強大ナ騎兵部隊ヲ持ッテ居ル次第デアリマス、ソレカラ尙日露戰役當時ト比較致シマシテ、馬ノ數ノ増加シタ割合ハ歩兵聯隊ニ於キマシテ其ノ裝備ガ變リマシタ情況カラ申上ゲマシテ、約二倍半ノ馬數ヲ要スルコトニナッテ居リマス、全體デ……騎兵聯隊ニ於キマシテモ日露戰爭當時ト今日ト比較致シマス、馬ノ數ガ一倍半ニ増加シテ居リマス、野砲兵聯隊、山砲兵聯隊、是等ニ於キマシテハ二倍、ソレカラ輜重ノ大隊ニ於キマシテ約二倍強ト云フ馬數ノ増加ヲ見テ居リマス、各單位ニ於キマシテモ、大體ニ於テ大約二倍ニ殖エテ居ルト云フヤ

ウナ情況デゴザイマシテ、加之軍隊ノ兵站數ガ著シク増加シテ參ッテ居ルノデアリマシテ、是等ノ情況カラ見マシテ、今後軍隊ニ於ケル馬數ノ益々増加スルト云フコトハ、十分判斷出來ルダラウト存ジテ居リマス、今回ノ此ノ競馬法改正ハ、勿論馬政第二次計畫遂行ノ必要ニ基クモノデゴザイマシテ、賣上金ノ關係ノ如キハ政府納付金デアリマスノト、ソレカラサウデナイノト問ハズ社會事業ニ充當セラレマシタ以外ノ金額ハ悉ク此ノ馬事ニ充當セラルベキ性質ヲ持ッテ居ルモノト考ヘテ居リマス、從ッテ今回ノ納付金ノ金額百分ノ六ヲ八ニ直サレマシタノハ、其ノ馬事及社會事業充當比率ヲ從前通リニ致シマスル時ハ、法文上カラ從來賣得歩合金ノ百分ノ二ト限定セラレテ居リマシタ所ノ社會事業費ガ、自然百分ノ二・七ト云フヤウニ増加セラレルコトニナリマシテ、反對ニ馬事充當費ガ百分ノ〇・七ト云フヤウニ減額セラレル結果トナルノデアリマシテ、競馬法改正ノ本旨ニモ反スル譯デ、陸軍ト致シマシテハ此ノ際比率ノ變更ト云フコトハ先キニ述ベマシタ馬政第二次計畫遂行ノ爲カラ見マシテモ、是非必要ノコトト認メテ居ル次第デゴザイマス、尙軍ガ此ノ競馬ノ方ニ期待ヲシナケレバナラスト云フ

理由ノアリマス具體的ナコトニ付キマシテハ、私ハ餘リ存ジテ居リマセヌカラ説明員カラ詳シク説明ヲ致サセルコトニ致シタイト思ヒマス

○委員長(子爵會我祐邦君) チョット皆サシニ御相談申上ゲマス、只今農林大臣ハ衆議院ノ方カラ出席ヲ要求セラレマシテ暫ク此ノ席ヲ去ラレマスコトハ餘儀ナイコトデゴザイマスガ、御同意願ヘマセウカ、如何デゴザイマセウ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵會我祐邦君) ソレカラ只今陸軍ノ政府委員カラ説明員ノ説明ヲ要求セラレマシタ、先程説明員ノ發言ヲ許シマスニ當リマシテ、チョット私感違ヒヲ致シマシテ、皆サンニ御相談スルコトナク許シマシタコトヲ御詫ヲ致シマス、只今御聽キニナリマシタ通り、陸軍ノ政府委員カラ説明員ノ説明ヲサシタイト云フ希望ガゴザイマシタ、説明員ノ發言ヲ許シマシテモ差支ヘゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵會我祐邦君) 宜シウゴザイマス

○説明員(吉田嘉吉) 第二次計畫ハ體型種類固定ノ目標ヲ明確ニ極メマシテ、内地保

有馬數百五十萬頭中二十萬頭乘馬、四十萬頭ハ輓馬、殘リノ九十萬頭ガ小格馬ニ體型ヲ整理シヨウト云フコトヲ目標トシテ計畫サレテ居ルデアリマス、ソコデ乘馬二十萬頭ヲ造リマス爲ニハ、年々ノ乘馬格ノ馬ノ生産ト云フモノヲ一萬二千頭位ヲ要スルノデアリマス、又輓馬ノ方ニ於キマシテハ二萬一千頭位ノ輓馬格ノモノノ生産ヲ必要トスルノデアリマス、所ガ事實ニ於テハ我ガ國民間ノ狀態ハ、小格馬格ノモノガ産業上比較的利用セラレルノデアリマシテ、軍ノ希望スルヤウナ強力ナ乘馬格、輓馬格ト云フモノハ殆ド需要ガナイノデアリマス、之ヲ例ヲ以テ申シマスレバ、一般産業トシテハ普通自動車ヲ希望スルガ、軍ノハ戰車ヲ希望スルト云フ風ナ關係ニアルノデアリマス、從テ唯一般人民ノ需要ニ應ズル程度ノ馬ヲ生産シタノデハ、戰車ノヤウナモノハ産業上全ク無價值ノモノデ、無價值デハナクテモ非常ニ利用ニ困ルモノデアリマス、從テ自動車格ノモノノバカリデアッテ、軍ノ希望スルヤウナ戰車ニ類スルヤウナ性能ノモノハ出テ來ナイノデアリマス、デアリマスカラ軍ノ平時購買ニ付キマシテモ、一般驛場ニ於テ競ッタ驛止マリガ假ニ百圓、百五十圓ト云フ程度デアッテ

モ、是ハ軍馬格ノ資格ヲ持ツモノデアルト云フモノニ對シテハ、二百圓或ハ二百五十圓ト云フ風ナ價格ヲ以テ買ッテ居ルノデアリマス、要スルニ必要ナダケノ經費ヲ出シテ軍ガ戰車格ノモノヲ買ヒマス爲ニ、茲ニ人民トシテハ戰車格ノ生産ト云フモノヲヤツテ居ルノデアリマス、只今ノヤウナ、第二次計畫ヲ遂行スル爲ニ要スル生産數ヲ得マス爲ニハ、現在ノ軍ノ平時購買數、概ネ現在四千頭位ヲ乘輓幼駒ヲ合シテ買ッテ居リマスガ、約三萬三千頭ノ、産業ト併立セザル馬ノ生産ヲ促進スルト云フコトハ殆ド不可能デアリマス、ト云ツテ軍ハ平時編成以上ニ多數ノ戰時資源ヲ作ル爲ニ、馬匹ヲ購入スルト云フコトハ非常ニ國費ヲ要スルコトニナルノデアリマシテ、實行不可能デアリマス、ソコデ軍以外ニ、此ノ軍馬格ト同ジヤウナ資格ヲ持ツ所ノ馬ノ需要ト云フモノガアルト云フコトハ絕對必要條件トナルノデアリマス、ソコデ若モ競馬ノ方ニ於テ用ヒマス馬ガ、略、軍ノ要求ニ合スル程度ノ馬デアルト云フコトニナリマス、競馬馬ノ取引ト云フモノガ軍ノ價格ヨリモ遙カニ高イノデアリマスカラ、之ニ對スル民間ノ生産ト云フモノハ非常ニ盛ニ起ッテ來ルト思ハレルノデアリマス、現在ニ於キマスル概

ネ四歲程度ノ競馬馬ハ、地方競馬及公認ヲ合シテ約六千頭位ニ達シテ居ルノデアリマス、軍ノ購買頭數ヨリモ更ニ此方ハ三歲四歲附近ニ於テハ多イノデアリマス、從ッテ此ノ六千頭内外ノ馬ガ悉ク軍馬格デアルト云フ場合ニ於テハ、軍ノ購買及競馬ノ需要ト云フコトニ依ッテ、只今ノ三萬三千ノ生産ト云フモノハ、是ハマダ判然トソコマデ行クト云フ見込ハサウ付カナインデアリマシテ、稍、不足ヲ感ジマスガ、少クトモ乘馬ニ於テハ目的ヲ達スルコトガ出來ル、輓馬モ速歩競馬等ノ指導ニ依リマシテ、此ノ數ハ或程度殖スコトガ出來レバ、或程度有力ナル輓馬ヲ生産サセル爲ニ貢獻シ得ルト考ヘテ居ルノデアリマシテ、軍馬ノ資源ヲ作ルト云フ意味ニ於テ、競馬ノ堅實ナル發展ハ軍ノ多大ノ關心ヲ持ッテ居ル所デアリマス

○委員長(子爵會我祐邦君) チョット私陸軍ノ政府委員ニ伺ヒタイノデスガ、此ノ競馬ノ問題ニ付キマシテハ、先代ノ寺内大將ガ陸軍大臣ノ時ニ、議會ニ提出サレタノデアリマス、記憶シテ居リマス、其ノ時ハ非常ニヤカマシイ議論ガアリマシテ、所謂博突ニ類シタモノデアルト云フコトカラ、貴族院ニ於テハ餘程議論ガ闊ハサレタノデアリマス、而シテ其ノ時ニ谷干城子爵ノ如キ

ハ、遂ニ馬尊キカ、人尊キカト云フ議論ヲ以テ御議論ニナツタ、寺内陸軍大臣自身モ反對ノ意見ヲ持ッテ居ラレタ經緯ガアルヤウニ、私ハ古キ速記録ヲ讀ンダヤウニ思ヒマス、所デ其ノ後、先年其ノ間ニ今日ノヤウニ或「リミット」、制限ヲ置イテ許可サレテ今日ニ至ツタ、三四年前ニ確カ競馬ノ法文ノ一部ガ改正サレタト云フコトヲ記憶シテ居ル、其ノ時ノ政府委員ノ説明シタ所ニ依リマス、陸軍ノ政府委員デアリマス、詰リ此ノ競馬ノ富籤ト云フモノハ、政府ガ若シ風紀風教ノ上ニ於テ弊害アリト認メル時分ニハ、之ヲ止メルト云フコトガ條件ニナツテ許サレタト記憶シテ居ル、是ハ永久ニヤルト云フコトハ言ッテ居ラナイ、其ノ時若シ社會上ニ弊害アルモノナラバ是ハ止メルト云フコトヲ條件トシテ許シタカニ記憶シテ居リマス、若シソレガ今日マデモ同ジ前提ノ下ニ存在シテ居リマス所ノ、此ノ勝馬ノ富籤性ト云フモノデアッデ、ソレカラ起ル收入ガ我ガ軍國ノ馬政計畫ノ根本ノモノデアルトナルナラバ、永久ニ計畫シナケレバナラス所ノ國防ノ大事ナモノガ、或ハ其ノ時ノ變化ニ依ッテ止メラレナケレバナラスト云フモノノ上ニ形ヅクツテ居ルト云フコトハ、非常ニ薄弱ナモノデナイカト私ハ思フ、

ソレデ此ノ事ニ付テ御取調ナリ、御記憶ガナケレバ宜シウゴザイマスガ、何カ其處ニ私ガ申上ゲマシタコトニ間違デモアレバ、ソレヲ訂正シテ戴キタイ、即チ言換ヘマスレバ、此ノ勝馬富籤性ト云フモノハ、風紀風教ノ上ニ影響ガナケレバ、成ルベク少クシテ置イテ、影響ガナケレバ宜イガ、若シ是ガイカヌナラバ止メナケレバナラスト云フノガ、其ノ時許可シタ時代ノ條件デアッタと思ヒマス、而シテ陸軍ノ一番大事ナ馬政計畫ノ根本ガ其ノ上ニ載セラレテ居ルト云フコトハ、如何ニモ心細イ話デ、軍ガ果シテ國防上ニ、馬政計畫ノ根本義ヲ持タナケレバナラスモノナラバ、斯カル薄弱ナル基礎ノ上ニ形ヅクラナクテモ宜イモノデナイカト云フコトヲ信ジテ居ルガ、之ニ對スル御所見ヲ承リタイ

○政府委員(磯谷廉介君) 今調ベマス、サウ云フ條件附ニ現在モナツテ居ルト云フコトデアリマス、ソレデ今後此ノ財源ニ基礎ヲ置イテ、軍馬ノ改良ト云フコトヲ、全然ソレニ基礎ヲ置イテ居ルカト云フト、必ズシモサウデナイノデアリマシテ、萬一サウ云フヤウナ場合デ其ノ財源ガ無クナルト云フヤウナ場合ニ於テハ、別ニ國費ヲ充當シテ戴クヤウニスル方針デ、現在ハ進ンデ

居ルサウデアリマス

○委員長(子爵會我祐邦君)

モウ一言、今

ノ續キデス、然ラバ只今私ノ考ヘテ居リマシタコトガ間違ガナカッタ云フコトデアリマスレバ、又政府委員ノ御答辯デ、軍ノ重大ナル所ノ馬政計畫ガ基礎ノ薄弱ナルモノノ上ニ載セラレテ居ルノデハナイ、若シ何カノ理由ノ下ニ其ノ財源ガ無クナルヤウナコトガアツテモ、他ニ其ノ方法アリト云フコトノ御答辯ガアツタモノト心得テ宜シウゴザイマスカ、然ラバ後日斯ウ云フコトガ、サウ云フコトモアリマスマイケドレモ、只今ノ松村委員ノ御質問ノ中ニモアル如ク、國防上ノ見地カラト云フ所ノ、非常ニ意義ノ強い、又絶對的ノモノガ、此ノ主體デナイト云フコトニ解釋スルコトニモナルノダガ、ソレデモ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(磯谷廉介君) 現在ニ於キマシテモ、此ノ經費ハ國費ヲ使用サレテ居ルノデアリマスルガ、其ノ補助トシテ競馬ノ方モソレガ利用サレテ居ルノデアリマス、其ノ額ガ相當大キイコトニナツテ居ルノデアリマシテ、萬一是ガ無クナルヤウナ場合ニ於テハ自然此ノ國費ノ方ヲ増加スルト云フコトニナラナケレバナラスト考ヘテ居リマス

○委員長(子爵會我祐邦君)

有難ウゴザイマシタ

○子爵高倉篤麿君

私ハ委員長ノ仰セラレマシタ一部、即チ人心ニ惡影響ヲ競馬ガ與ヘテ居ラスカト云フ一部ヲ拜借致シマシテ、農林大臣ニ實例ヲ舉ゲテ御尋ネ致シタ

イト思ッテ居リマシタガ、所ガ今農林大臣ハ他ノ委員會ニ御出席ニナルト云フコトデゴザイマスノデ、私ノ質問ハ少シ長クナリマスノデ何トモ申上ゲナカッタノデアリマシタガ、今日農林大臣ハ更ニ御出席ニナリマスノデゴザイマセウカ

○委員長(子爵會我祐邦君)

只今衆議院ノ

方ニ呼バレテ居リマシテ、ソレガ濟ンダラオ出デニナルト云フコトデアリマス、今チヨット聞キニヤリマスカラ……

○子爵高倉篤麿君

私ハチヨット其ノ間ニ

質問ヲシタイト思ヒマスガ宜シウゴザイマスカ

○委員長(子爵會我祐邦君)

宜シウゴザイマス

○子爵高倉篤麿君

現在ノ競馬法ハ先刻松

村君ノ仰セラレマシタヤウニ、私モ主トシテ國防上ノ見地カラ設ケラレテ居ルモノト考ヘマス、然ルニ現在ノ競馬ノ狀態ヲ見マスト、陸軍ニ於カレマシテハ現在ノヤウ

ニ「サラブレット」偏重デハイカスト云フコトヲ此ノ前カラ仰セラレテ居リヤス、然ルニ現在ノ有様ハ「サラブレット」ガ主モデアリマシテ、今日中山、根岸、或ハ關西ニアツタカモ知レマセヌガ、二十五「パーセント」ノ「レース」ガゴザイマスケレドモ、是ハホシノ申譯ト申シテハ甚ダ何デゴザイマスケレドモ、殆ド「サラブレット」偏重ニナツテ居ルノデゴザイマスガ、無論是等ノコトヲ伺ヒマシテモ、百五十萬頭ノ頭數ヲ揃ヘル點カラ申シマス、現在ノ競馬ノヤリ方デ其ノ目的ヲ達シ得ラレスト思フノデアリマスガ、ドウモ軍馬トシテノ方針ニ付キマシテ、恐ラクハ陸軍省ト農林省ノヤリ方ト、御考ガ違フノデハナイカト云フ私ハ考ヲ持ッテ居リマスノデス、其ノ邊ヲチヨット御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(田淵敬治君)

私カラ申上ゲマ

シテ、軍ノ關係ノ方ハ又軍ノ方カラ御答ヲ御願ヒ致シタト存ジマス、現在ノ競走ハ「サラブレット」偏重ニナツテ居ルヤウデアアルガト云フ思召デゴザイマスガ、此ノ點ハ政府ノ方ニ於キマシテモ、非常ニ注意ラシテ參ッタ事項デゴザリマシテ、番組ノ編成其ノ他ニ付キマシテ種々ノ制限ヲ設ケマシテ、中間種、即チ軍ノ要求サレマスル中間種ノ

競走ヲ、出來ルダケ多ク施行セシムルヤウニ指導シテ參ッテ監督モ致シテ居ルノデゴザイマス、尤モ只今御話ニモアリマシタ通りニ、現在ノ中間種ヲ相當多ク競走ニ出サセルト云フコトニ付キマシテハ困難ナ事情モゴザイマスノデ、先ヅ現在十分ニ行ッテ居ルトハ申上ゲ兼ネマスガ、過渡期ト申シマスルカ、此ノ方ニ段々進メテ參ッテ居ルコトハ御認メ下サルダラウト思ヒマス、ソレカラ從來軍ノ方面ト、馬政ヲヤッテ居リマスル方面トノ連絡ノ關係デゴザイマスガ、從來モ十分ノ連絡ヲ保ッテ參ッテ來テ居ルノデゴザイマスガ、此ノ點將來益々連絡ヲ十分ニ致シマスル爲ニ、只今進行ヲ致シテ居リマスル農林省ノ外局ト致シマシテ馬政局ヲ設置シマスコトデアリマスガ、其ノ際ニモ陸軍方面カラ相當ノ數ノ方ガ來ラレマシテ、農林、陸軍ノ連絡ヲ一層緊密ニスルヤウニ計畫ガ進メラレテ居ルノデアリマス、尙ソレバカリデナク、當時勤務サレル方バカリデナク、陸軍ノ其ノ關係ノ御方、農林ノ其ノ關係ノ者ナンカト、十分ニ協議打合セノ出來ルヤウナ、參與トデモ申シマスガ、連絡員トデモ申シマスガ、サウ云フ風ナ制度モ作ッテ參リタイト云フコトデ進ンデ居リマスノデ、是ハ豫算ノ協

贊ヲ得レバ、直チニ馬政局ノ成立ヲ見ル譯
デアリマスガ、サウ云フヤウナ事情デアリ
マシテ、十分ニ努メテ將來モ參ル決心デ居
ル次第デゴザイマス

○子爵高倉篤麿君 只今御答辯ヲ得マシタ

ガ、ドウモ私満足致シ兼ねマス、ソレハソ
レニ止メマシテ、只今中間種ノ御話が出マ
シタノデ序デニ伺ッテ置キマス、只今ノ競馬
ニハ御承知ノ通り繫駕競走ガゴザイマス、
是ハ中間種ノ關係上御設ケニナッテ居ルコ
トト無論思ヒマス、併シナガラ私ハ今日競
馬ニ繫駕競走ヲ入レヌデモ輓馬ノ改良ハヤッ
テ行ケルノデヤナイカト思フノデアリマス
ガ、併シソレハ御考ニ依ルコトデアリマス
ガ、又此競馬ヲ致スコトニ付キマシテハ、
今ノ繫駕競走ホド弊害ノ多イモノハナイノ
デアリマス、妙ナコトヲ言ヒマスガ、八百
長ヲシヨウト思ヘバ幾ラデモ出來ル、從テ
何時モ問題ヲ起スノハ繫駕競走デアリマス、
併シ是ハ「ダク」ヲ本職ト致シテ居リマス關
係上、駈足ニナルト首ヲ持ッテ來タト云フ譯
デ、著ニ參ッテモ失格ヲサレルノデアリマ
ス、併シナガラ僅カ決勝點ニ三步前デ駈足
ヲヤッテ失格ヲサスト云フヤウナコトガ間
間アルノデアリマス、是デハ競走ト云フコ
トカラ申セバ、何ノ意味ダカ理解ニ苦シム

ノデアリマス、寧ロ左様ナコトガアレバ繫
駕競走ハ競馬カラ止メテモ宜イノデヤナイ
ノダラウカト考ヘテ居リマス、併シナガラ軍
馬ノ關係カラハ、ソレハ出來ヌト云フ御考
ナラバ、幸ニ新潟ナリ、福島ナリ……繫駕
ハ全ク駈足ト違ッテ居リマスノデ、競馬場ノ
設備等ヲ變ヘル必要ガアルト思フカラ、ドッ
カ一箇所ニ定メテ、何競馬トカ、障礙ヲ設
ケテ輕種ノ競馬ダケヲ、普通ノ他ノ俱樂部
デオヤリニナルヤウニサレ、バ、乘馬用ノ
番組ヲ殖シ、寧ロ其ノ方ガ利益ヲ得ルノデ
ヤナイカト思ヒマス、其ノ點如何デゴザイ
マセウカ

○政府委員(田淵敬治君) 御答へ申上ゲマ

ス、繫駕競走ノ非常ニ施行上苦心ノアルム
ツカシイ點ノ多イコトモ、實際職ニ當ッテ居
リマス者ニ於キマシテモ十分感ジテ居ル次
第デゴザイマス、色々ノ點ハ之ニ十分ノ考
慮ヲ加ヘマシテ、將來改善ヲシタイト斯ク
ノ如ク考ヘテ居ル次第デゴザイマス、ソレ
デ御話ノ繫駕競走及障礙競走ヲ普通ノ所デ
ヤラズニ、何處カ一ツノ競馬場ニ纏メテハ
如何カト云フ風ナ思召ノヤウニ伺ヒマシタ
ノデゴザイマスガ、是モ我々始終伺ッテ居ル
ノデゴザイマシテ、此ノ從來各競馬場ガ獨
立シテ競馬ヲ施行シテ居リマス、ナカナ

カ其邊ノ點非常ニ困難デゴザイマスルガ、
斯ウ云フ風ニ一ツノ法人ノ使命ト云フ風ニ
致シマスレバ、十分將來研究致シマシタ上
デ、或一ツノ場所ニ於テ繫駕或ハ障礙ヲ行
フト云フ風ナコトガ出來ルカ、其ノ邊ハ今
此處デ御答ヲ申ス譯ニハ參リマセヌガ、十
分サウ云フ方面モ研究シナケレバナラヌ
問題ト思ヒマスシ、又サウ云フ風ノコトニ
シ易クナル方面ニ一歩進メルト云フ風ニ考
ヘテ居ル譯デアリマスガ、此ノ日本競馬會
ガ成立致サレマシテ、少シ實行致シマシタ
場合ニハ色々ノ點ニ付キマシテ、是ハ繫駕
競走ノミナラズ、諸種ノ點ニ付テ改善ノ步
ヲ進メラレルコトト考ヘテ居ル次第デアリ
マス

○子爵高倉篤麿君 只今ノ御答辯ハ了承致

シマシタガ、無論繫駕ノ審判ノ困難ナコト
ハ私モ存ジテ居リマス、當ニ弊害ヲ生ズル
ノミナラズ、一般ノ所謂競馬「ファン」ナル
モノニ損害ヲ與ヘルモノガナカ／＼大キイ
ノデアリマス、將來此ノ日本競馬會ナドノ
創立セラレマシタ場合ニハ、何卒必ズ何ト
カ善良ナ方法ヲ御採リニナルコトヲ希望致
シマス

ガナケレバ、茲ニ政府納付金モ累年表ハ戴イ
テ居ルノデアリマスガ、農林省デ馬質改良
及馬事思想普及ニ對シテオ使ヒニナッテ居
ル累年ノ經費ノ調ヲ頂戴シタイモノダト思
ヒマス、先程政府委員ノ御説明ニ、農林省
ダケデナシニ、其ノ種ノ經費ガ内務省ニモ、
大藏省ニモアルヤウニ御答辯ノ中ニモアッ
タヤウニ思ヒマスカラ、若シサウ云フモノ
ガ内務省ノ經費ニモ大藏省ノ經費ニモアル
ト致シマスレバ、ソレモ併セテ御調ヲ願ッ
テ、委員ニ御配付ヲ願ヘマシタラ仕合セト
思ヒマス、ソレカラ政府納付金ノ金額ダケ
ハ分ッテ居リマスガ、此ノ納付金ハ法文ニア
リマスヤウニ、馬質改良、馬事思想ノ普及
竝ニ社會事業ノ經費ニ充テルコトニナッテ
居ルノデアリマス、年々ノ經費ノ中カラ馬
質改良ニハドノ位使ハレ、馬事思想普及ニ
ドノ位、社會事業ニハドノ位使ハレマシタ
ト云フ累計表ヲオ作りニナリマシテ、御提
出ヲ願ヒタイト思ヒマス、是ダケヲ御願ヒ
申上ゲテ置キマス

○政府委員(田淵敬治君) 次ノ委員會ヲ開

カレマス時マデニ差上ゲルヤウニ致シタイ
ト思ヒマス

○委員長(子爵會我祐邦君) 出來次第御配

リヲ願ヒタウゴザイマス

○丸山鶴吉君 其ノ表ヲ戴キマシテカラ、

更ニ詳細ニ御質問ヲ申上ゲヨウト思ヒマス
ガ、只今丁度發言ヲ御許ヲ得テ機會デアリ
マスカラ、此ノ際御伺ヒ申上ゲテ置キ、尙
表ヲ戴キマシテカラ後デ順次御伺ヒ申上ゲ
タイト思フノデアリマスガ、此ノ政府納付金
ノ表ニ依ッテ見マスルト、累年非常ニ増加
ヲ致シマシテ、昭和十年度ニハ五百三十萬
五千五百七十九圓六十錢ト云フヤウナ多額
ニ上ボツテ居リマス、ソレデ私先程政府委員
ニ御伺ヒ致シマシタ所デハ、此ノ多額ノ經
費ノ中、法文ニアリマス社會事業ノ寄附ニ
充當サレタ金額ト云フノハ、法律ノ改正ニ
ナリマシタ昭和六年度デハ五十萬圓、昭和
七年度以降昭和十年度ニ至ルマデハ毎年百
萬圓宛デアアル、斯ウ云フ御答ヲ得テ居ルノ
デアリマス、是ハ後デ其表ヲ戴キマスレバ
更ニ明瞭ナルト思フノデアリマス、ソレ
デ昭和七年度ノ政府納付金三百四十四萬八
千圓ナニガシデアリマス、昭和十年度ニナ
リマスツレガ非常ニ増加致シマシテ、五
百三十萬五千餘圓ニナツテ居ルノデアリマ
スガ、ニモ拘ラズ社會事業ニ充當スル金ト
云フノハ毎年百萬圓宛ダト云フノデアリマ
ス、勿論法文ノ規定デハ三分ノ二ヲ下ルコ
トヲ得ズト書イテアルノデアリマスカラ、

馬質改良及馬事思想ノ普及ノ爲ニ寄附ヲ要

スルコトガ多クナツテ、社會事業ダケニ百萬
圓ヲ御支出ニナリマシテモ、或ハ八十萬圓
ヲ御支出ナリマシテモ、法文ノ規定上ニハ
チヨットモ差支ナイ譯デアリマス、何ダカ七
年度カラズツト十年度マデ毎年百萬圓、斯ウ
極ツテ居ルノデアリマスガ、是ハ何カ農林當
局ト内務當局トノ間ニ、社會事業ニ支出ス
ル金ハ政府納付金ノ中カラハ百萬圓限度デ
アル、斯ウ云フ事務上ノ御打合せデモアル
ノデアリマスガ、其ノ結果斯ウ云フヤウナ
結果ニナツテ居ルノデアリマセウカ、一應其
ノ點ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(田淵敬治君) 御答ヘ申上ゲマ

ス、昭和六年ニ競馬法ノ一部改正ガゴザイ
マシタ時ニ、此ノ政府納付金ヲ馬ノ改良増
殖、馬事思想ノ普及ノ方面ト、社會事業ノ
方面ニ支出スル其ノ割合ガ、只今ノ御話ノ
通りノ割合ニアツタノデアリマス、法文ニ
入ツタノデアリマスガ、當時農林大臣ノ議會
ニ於キマスル説明ニ於キマシテ、大體政府
部内ニ於テハ社會事業ノ方ニ廻ス金ハ百萬
圓ト話シテ居ル、將來更ニ政府納付金ガ
相當増額スルコトガアツテモ、社會事業ノ方
ニ廻ス金ハ大體百萬圓ト話シテ居ルノデ
アル、斯ウ云フ風ニ速記録ニアリマスノデ

我々政府部内ニ左様ナ申合セト申シマスガ、

御話ガアツタコトト了承致シテ居ル次第デ
アリマス

○委員長(子爵會我祐邦君) チヨット皆サ

シニ御相談致シマスガ、只今農林大臣ハ午
後三時四十分頃ニ來ラレルサウデアリマス
カラ、ソレ迄十五分間休憩ヲ致シタクゴザ
イマスガ如何デゴザイマスガ、御異存ゴザ
イマスマイカ、ソレデ農林大臣ノ御答ヲ承ッ
テカラ散會ヲ致シタイト思ヒマスガ……

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵會我祐邦君) 御異存ゴザイ

マセヌナラ、只今カラ十五分間休憩致シマ
ス、三時三十五分ニ開會致シマス

午後三時三十分一分休憩

午後三時四十五分開會

○委員長(子爵會我祐邦君) 只今カラ休憩

前ニ引續キ開會致シマス、農林大臣ハモウ
間モナク御出デニナルサウデゴザイマスガ
ラ、ソレ迄何カ御質問ガアリマシタラ、政
府委員ニ對シテノ御質問ヲ願ヒマス

○男爵關義壽君 ソレデハ少シ細カイコト

ニ付テ伺ヒマスガ、此ノ法文ニアリマス今
度出來マス設立委員ト云フモノハ、非常ニ
重大ナル任務ヲ持ッテ居ルモノト思フノデ
スガ、此ノ任務モ或ハ餘リ少イトドウカト

思ヒマスガ、兎ニ角二十人位アツテ、而モ其

ノ中ニハ資格ノ有ル競馬關係者モゴザイマ
セウケレドモ、之ヲ資格ニ關係ガナイ者ヲ
少シ入レタ方ガ、却テ嚴正公平ニ任務遂行
ガ出來ルノデハナイカト思ヒマスガ、先ヅ
此ノ點ヲ第一ニ伺ヒマス

○政府委員(田淵敬治君) 御答ヲ申上ゲマ

ス、設立委員ハ無論競馬會ノ業務規則其ノ
他ヲ定メマシテ認可申請ヲスル手續ノ關係
ニナルノデゴザイマスガ、御話ノ人數ノ關
係等ニ付キマシテハ、是ハ大藏省ノ方ニ豫
算ヲ要求致シマシテ、今度御協賛ヲ求メテ
居ル譯デゴザイマスガ、其ノ人數ニ付キマ
シテハ、大體豫算ノ上ニ現レテ居リマスノ
ハ、十名バカリニナツテ居ルノデアリマス、
御話ノ點ハ能ク當局ヘモ申傳ヘマシテ、考
慮致シタイト思ヒマス

○男爵關義壽君 他ニ關係シマスガ、此ノ

案ニハ評議員ノ範圍ニ付テ規定シテアリマ
スガ、此ノ評議員ノ範圍ハ、此ノ條文ヲ讀
ンデ見テモチヨット理解致シマセヌ點ガア
リマスノデ、モウ一遍御説明ヲ願ヒタイト
思ヒマス

○政府委員(田淵敬治君) 評議員ハ農林大

臣ガ任命致スト云フコトニナツテ居ル次第
デゴザイマスガ、評議員ヲ何レノ範圍カラ

任命ニナルカト云フコトニ付キマシテハ、

是ハ御手許ニ御配布申上ゲマシタル、馬政調査會ニ競馬ノ統制改善ニ付テノ方策ヲ諮問ニナリマシタ其ノ答申ノ中ニ、評議員ノ半數以上ヲ、從來ノ競馬俱樂部ガ解散ニナリマシテ、サウシテ日本競馬會ノ競馬ノ開催ニ協力ヲ援助致シマスル團體ガ出來ル譯デアリマスガ、其ノ團體ノ會員カラ出スト云フコトノ答申ニナッテ居リマス、是ハ從來ノ競馬俱樂部ノ會員ノ方々ガ其ノ團體ノ會員トナレルノデアリマスカラ、從來ノ競馬俱樂部ノ方面ノ方カラ相當評議員ニ取ルト云フヤウナコトノ意味ニナルノデゴザイマス

○男爵關義壽君 此處ニ理事トカ役員トカガアリマスガ、是ハ矢張り名譽職デスカ、又ハ一定ノ手當ガアルノデアリマスカ

○政府委員(田淵敬治君) 理事、監事、其ノ他理事長、副理事長、是ハ日本競馬會ノ設立委員ガ任命ニナリマシテ、設立委員ガ業務規則ヲ定メテ、農林大臣ノ認可ヲ申請スル譯デゴザイマスガ、其ノ業務規則制定ノ場合ニ、事情ニ適合スルヤウ決定スルコトト考ヘテ居ル次第デアリマス

○男爵關義壽君 サウスルト監事トカ、理事トカ、今申サレマシタ役員ハ無給デゴザ

イマスカ

○政府委員(田淵敬治君) 此ノ日本競馬會ノ役員ハ常時其ノ職務ヲ遂行シテ參ル譯デゴザイマシテ、政府ト致シマシテハ有給ノモノトナラウト、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○男爵關義壽君 此處ニ横濱ノ「レース・クラブ」ノ爲ニ特ニ設立委員ノ決定ヲ俟ッテ、之ヲ買收スルトカ或ハ其損害ヲ認メルトカ云フコトガ議デゴザイマスガ、是ハ横濱ノ「クラブ」ニ限ッテ、外ノモノニハ用ヒナイノデゴザイマスガ

○政府委員(田淵敬治君) 其ノ規定ハ四十八條ノ規定デゴザイマシテ、ソレハ日本競馬會ガ成立致シマシタ場合ニ、從來ノ競馬「クラブ」及ビ社團法人ノ帝國競馬協會ガ解散ヲ致シテ、其ノ權利及義務ヲ日本競馬會ニ引繼イデ參ル譯デゴザイマスガ、其ノ場合ニ主務大臣ガ特別ノ事由アリト認メマサル「クラブ」ニ付キマシテハ、是ハ命令ノ定ムル所ニ依リマシテ一定ノ權利義務ヲ殘スノデ、即チ其趣旨ハ御話ノ横濱ノ日本「レース・クラブ」ニ關スルモノデゴザイマスガ、横濱ノ日本「レース・クラブ」モ、四十七條ノ規定ニ依リマシテ、一般的ニ權利義務ヲ繼承スルコトガ原則トシテゴザイマスガ、其

一部分ヲ留保スルコトガ出來ル、斯様ニナッテ居リマスノハ、是ハ横濱ノ「レース・クラブ」ハ御承知ノ通り明治四十一年馬券ガ禁止ニナリマシタ後、外ノ競馬「クラブ」ニ於キマシテハ政府ノ補助金ヲ得マシテ設備ヲ買取ッタノデゴザイマスガ、横濱ノ「レース・クラブ」ニハ其ノ場合政府カラ設備買收ノ意味ノ補助金ガ參ッテ居リマセヌ、サウ致シマシテ大正十二年ノ競馬法實施ノ際ニ、既ニアノ「クラブ」ニ於キマシテハ相當ノ資産ヲ持ッテ居ッテ譯デアリマス、デアリマスノデ競馬法ノ力ニ依リマシテ、財産及ビ政府カラ補助致シマシテ得マシタ資産ト云フ風ナモノハ、是ハ斯ウ云フヤウナ法人ノ性質上、當然日本競馬會ニ引繼イデ參ル譯デアリマスガ、横濱ノハサウ云フ事情ガ違フ資産ガゴザイマスノデ、其ノ分ニ付キマシテハ是ハ審査委員會ヲ設ケマシテ、其ノ御決議ニ依リマシテ公明正大ニ、審査委員會ノ御決定ヲ得テ主務大臣ガ之ヲ認可ラシテ、一部分ノ權利ヲ留保サセルヤウニスルノガ事情ニ最モ適合シタ處置ト、斯様ナ考デ斯ウ云フ規定ニナッテ居ル次第デアリマス

○男爵關義壽君 サウシマス、資産ハ日本人ノ所有デヤナイノデゴザイマスガ

○政府委員(田淵敬治君) 日本「レース・クラブ」ノ現在ノ資産ハ民法三十四條ノ規定ニ依リマスル社團法人ノ所有ニナッテ居リマス、其ノ會員ガドウ云フ風ナモノデアルカト申シマスルト、是ハ外國人ガ相當多數デアリマス、日本人ハ少數デアリマス

○男爵關義壽君 モウ一ツ伺ヒマスガ、現在公認競馬ガ十一箇所ゴザイマスガ、是ハ場所ニ依ッテ大變利益ガゴザイマスシ、又表デ伺ッテモ大變收支ノ相償ハナイ所モゴザイマスガ、斯ウ云フ將來一ツ大キイ日本競馬會ニナリマスルト、皆場所ノ良イ所ヘ移ッテ惡イ所ヲ廢止シタリ、或ハ數ハ殖ヤサナクテモ收支ノ償フ所ニ移轉スルトカ、サウ云フ考ハ全然ゴザイマセヌカ

○政府委員(田淵敬治君) 御答ヘ申シマス、現在ノ位置ノ競馬「クラブ」ハ御話ノヤウニ隨分賣上ト申シマスガ、收入ノ少イ所ガゴザイマスノデ、之ニ付テハ色々議論モゴザイマスガ、併シ此ノ法律施行ノ當分ノ間ニ於キマシテハ、之ヲ移轉スルト云フ風ナ考ハナイノデゴザイマス、併シ將來永久ニソレデハ動かナイモノカト云フ風ナ見方デ參リマス、是ハ其時ノ狀況ニ依リマシテ、之ヲ移スノガ馬政ノ方面カラ見テ宜イト云フ時期ガ參リマスレバ、是ハ其時ニ處シテ適當ニ考慮アルベキコトト考ヘマスガ、

差當リハ移轉スルヤウナ考ハ持ッテ居ラナイ次第アリマス

○委員長(子爵曾我祐邦君) 高倉子爵ニ伺ヒマスガ、先程農林大臣ガ御出デニナッタ御質問シタイト云フ御話デ、只今御出デニナリマシタカラ……

○子爵高倉篤麿君 私ハ此ノ競馬法ニ付キマシテ一言農林大臣ニ御尋ラ致シタイト思フノデゴザイマス、此ノ現在ノ競馬法ハ非常ナ弊害ノアルト云フコトハ御承知デアラウト存ジマスルガ、此ノ前改正法律案ガ提出ニナリマシタ場合ニモ、其ノ點ニ付テ私ハ農林大臣ニ御伺ヲ致シテゴザイマスガ、當時會期切迫ノ折柄デモゴザイマシタシ、時ノ町田農林大臣ハ此ノ點ニ付テハ議論モアラウ、併シナガラ會期モ切迫シテ居ルシ、又今回ノ政府收納金ノ一部ハ社會事業ニ投ズルガ爲ニ、枉ゲテ此ノ法案ノ通過ヲ圖ッテ貰ヒタイト云フ御説デゴザイマシタガ、ソレガ爲ニ御賛成申上ゲタト云フ譯デハゴザイマセヌガ、兎ニ角會期切迫致シテ居リマシタ爲ニ、其ノ儘法案ハ通過致シマシタノデゴザイマス、ソレカラ丁度六年限經ッテ居リマスガ、其ノ弊害ノアル點ニ付キマシテハ何等御手ヲ觸レズニ、今回、成程他ノ條文ハゴザイマスケレドモ、主トシテ政府ノ

收納金ヲ増加スルト云フ法案ヲ御出シニナリマシタコトニ付キマシテハ、私ハ非常ニ遺憾ニ存ジテ居リマス、ソレニ付キマシテ甚ダ會期切迫ノ折柄恐縮デゴザイマスガ、少シク競馬ノ現狀ニ付キマシテ御話ヲ申上ゲテ、農林大臣ニ御伺ヒ致シタイト存ズルノデアリマス、競馬法ノ改正ニ付キマシテハ、ドウシテモ所謂馬券、勝馬投票券ノコトニ付キマシテ改正ヲ加ヘナケレバ、弊害ヲ除去スルト云フ譯ニハ參ルマイト私ハ存ジテ居リマス、然ルニ現在ノ競馬法ニ依リマスレバ、第四條ニ額面金額ハ五圓以上二十圓以下ト云フコトニハナッテ居リマス、無論ハ農林省ガ直接ニオヤリニナッテ居ル譯デヤゴザイマセヌノデ、或ハドウカト思ヒマスルガ、競馬法ノ施行サレマシタ當初ニ於テ、二十圓券ト云フ額面ハ、資金ヲ得ル點ニ於テ是ハ私モ已ムヲ得ナイト思ヒマスガ、今日ハ十分デアルト思ヒマスカラ、其ノ必要ハナイデアラウト思ヒマスノミナラズ、非常ナ之ガ爲ニ弊害ヲ醸シテ居ルノデゴザイマスガ、日本ノ經濟狀態ニ比シマシテ此ノ二十圓ト云フ金額ハ非常ニ高イモノニ付クト考ヘテ居リマス、ソレガ爲ニ現在競馬場ニ出入スル者ノ大部分ハ、單獨デ買フ者ガナイノデゴザイマス、ソレガ爲

ニ先刻風聞君カラモ御話ガアリマシタガ、香屋ノ手ヲ經テ買フト云フコトニ相成ルノデ、無論相知ッテ居リマス者ガ、固マッテ入リマスレバ、是ハ容易ニ二十圓ヲ纏メテ買フコトガ出來マスルケレドモ、併シナガラ競馬ニ參ル者ハ必ズシモ知ッテ居ルト云フ譯ニハ參リマセヌノデ、ナカ／＼一人デ以テ二十圓出スト云フコトハ苦痛ナンデゴザイマス、從ッテ香屋ノ手ヲ經テ自分ノ希望スル馬ヲ買フ爲ニ、一圓ナリ……五圓出ス者ハ殆ド無イカト思ヒマスガ、一圓若シクハ五十錢位出シマシテ、萬一自分ノ希望シテ居ル馬ガ勝チマシタ場合ニハ、ソレニ對スル割合ヲ貰フト云フコトニナッテ居リマス、而モ此ノ香屋ナルモノハ法律ニ於テ許サレテ居ラスノデゴザイマス、所謂不正ノ行爲デアルノデゴザイマスルガ、ドウモ此ノ額面ノ高イ爲ニ、大部分ガソレニ頼ラナケレバナラス、而モ上ニハ上ノアルモノデゴザイマシテ、此ノ不正者ヲ臨場ノ警官ノ一人ガ發見致シマシタ場合ニハ、無論檢舉致シテ之ヲ御手當ニスルノハ適當ト思フノデアリマスガ、左様セズニ此ノ二人カラ勝馬投票券ノ増額ヲ得タ場合ニハ、其ノ増額サレマシタ高ラ沒收スルノミナラズ、雙方カラ額面ニ相當スル額ヲ沒收スルノデゴザイマ

ス、恐ラクハ此ノ事ハ發表ニモナラス所ヲ見マス、刑事ノ「ポケット」ニ入ルノデヤナイカト思ヒマス、其ノ點ニ關シマシテハ非常ニ泣イテ居ル者モアル狀態デゴザイマスガ、無論法律ニ違反シタ行爲ヲ庇フト云フコトハ正當デナイト思ヒマスガ、事情ハ氣ノ毒ニモ思ヒマスルシ、又斯様ニ犯罪ガ犯罪ヲ生ムト云フヤウナコトヲ、イツ迄モヤラシテ御置キニナルト云フコトハ、今日人心刷新ノ上カラ見マシテモ宜シクナイト思ヒマス、從ッテ此競馬法ノ改正案ヲ御出シニナルニ付キマシテハ、此ノ勝馬投票券ニ關スル條文ヲモ御改正ニナリマシテ御出シニナルコトガ、當ニ其ノ犯罪ヲ防グコトノミナラズ、政府ノ御考ヘニナッテ居リマス所謂收納金ヲ増加スル上ニ於テモ、實際上其ノ功績ガ舉ルノデハナイカト思フノデゴザイマスガ、此ノ點ニ御觸レニナラズニ、馬政調査會ノ意見ニ依ッテ御提案ニナッタト云フコトデゴザイマスガ、此ノ馬政調査會ニ於キマシテモ、所謂馬券ノ點ニ付テハ議論ガアツタコトト思ヒマスガ、僅カノ少數ノ爲ニ希望條件トシテ申上ニナッテ居ルヤウデゴザイマスガ、一番弊害ノ多イト云フノハ此ノ勝馬投票券ノ賣買ニ關係スルコトデゴザイマス、ソレガ爲ニ私ハ、當然此

ノ所謂馬券ニ關係致シマスル條文ヲモ改正ヲ加ヘテ御提案ニナルコトト實ハ考ヘテ居リマシタノデスガ、今回ノ御提案ヲ見マスト他ニ色々條文ガゴザイマスガ、主トシテ政府ノ收納金ヲ増加スルト云フ意味デ御提出ニナツタノデハナカラウカト思ヒマシテ、其ノ點如何ニモ殘念ニ思フノデアリマス、從ツテ此ノ委員會ガドウ云フコトニ相成リマスカ存ジマセヌガ、假ニ此ノ儘通過ヲ致スト致シマシテ、次ノ議會ニ於キマシテ更ニ改正案ヲ御出シニナルト云フ御考ガアルノデゴザイマスガ、ナイノデゴザイマスカ、其ノ點ヲ一遍承リタイト存ジマス

○國務大臣(島田俊雄君) 一言御斷リ申上

ゲテ置キマスガ、私ハ競馬ノコトハ全ク素人デゴザイマシテ、農林大臣ニナリマシタノデ競馬關係ノコトヲ遽カニ教ヘッテ居ルト云フヤウナ狀態デアリマシテ、甚ダ迂遠デアリマスルカラシテ、詳シイコトハ政府委員ヨリ成ルベク説明サセルヤウニ致シタイト思フノデアリマスガ、只今ノ御質問ノ點デアリマスガ、其ノ事柄ニ付キマシテハ就任後ニ於キマシテモ丁度今御質問ノヤウナ意味ノ事柄ニ付テ、幾通りモ事情ヲ聞キマシテ居ルノデアリマス、ソレデ此ノ只今ノ馬券ガ二十圓ト云フコトハ高過ギル、ソ

レダケガ原因トハ言ヘナイデアリマセウガ、サウ云フコトガ矢張り動機トナツテ只今御話ニナリマシタヤウニ、場外ニ於テ香屋ト云フヤウナモノノ弊害ガ起リ居ルト云フ事柄ニ付キマシテハ、是ハドウモ斯ウ云フ風ニ各種ノ方面カラ聞キマシテ、左様ニ自分モ考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラ又是ハ馬政調査會ニ於テモ只今御話ノ通リニ其ノ議論ガアリマシテ、サウシテ答申トシテハ出テ居リマセスケレドモ、希望決議ニ於テ之ヲ監督スルノ方法ヲ執ルベキ意味ガ現レテ居ルノデアリマスガ、御承知ノアラセラルヤウニ、何分現在アリマス十一ノ獨立シタ競馬俱樂部ヲ一ツニ纏メマシテ、サウシテ之ヲ大キナ法人ニ纏メテ、ソレニ對シテ政府デ監督ヲ行ッテ行クト云フ、改正案トハ云ヒマスケレドモ、殆ド是ハ競馬制度ニ付テハ根本的ノ問題ト云ツテモ宜イ所ニ觸レテ居リマスノデ、ソコデ政府ト致シマシテハ、此ノ場合ハ大體此ノ答申ニ現レテ居ル事柄ヲ法文化シマシテ、サウシテ他ノ事柄ニ付テハ法人ガ出來、又政府ノ方ニ於キマシテモ之ニ對スル特別ノ局ガ出來ルヤウナ次第ニナツテ居ルノデアリマスガ、左様ナモノガ完備ヲ致シマシタ上デ殘サレタ問題ニ付テハ研究シテ善處スルヤウ

ニシタ方ガ宜イ、斯ウ云フヤウナ建前カラ此ノ法案ヲ立テタ云フコトニ説明ヲ聽キ、自分モ亦ソレガ此ノ場合トシテハ安全ナ方法デアラウ、然ルベキ方法デアラウ、斯様ニ考ヘテ本案ヲ提出シタヤウナ次第デアリマスノデ、只今ノ御話ノ事柄ハ、之ニ付テ相當ニ考慮ヲ加ヘマシテ、サウシテ他日此ノ點ニ付キマシテハ適當ノ改正ヲ考究スルノ必要ガアラウ、斯様ニ考ヘテ居リマスガ、何分本案ガ未ダ通過シ法人ノ成立ヲ見ナイ以前デアリマスカラシテ、此ノ場合直チニ次ノ議會ニ於テ左様ナ改正案ヲ出スト云フコトヲ獨斷デ言明ヲスルト云フコトハ差控ヘタ方ガ然ルベキデハナカラウカト斯様考ヘマシテ、御趣意ハ諒トスルコトヲ申上ゲテ置キマス

○子爵高倉篤麿君 只今農林大臣ヨリ御答

辯ヲ得マシテ、弊ノアルコトハ御認メニナツテ居ルヤウデゴザイマス、私ハ此ノ點御信賴ヲ申上ゲマシテ、或機會ニ於テ必ズ改正案ヲ御提案ニナルコトト信ジマス、尙一點此ノ場合申上ゲテ置キタイコトハ、現行第四條ノ二項ニ勝馬投票券ノ發賣ハ競馬一競走ニ付一人一枚ヲ限ルト云フコトガ原則ニナツテ居リマス、單勝式、複勝式ヲ施行スル場合ニ於テハ、一競走ニ付一人一枚ヲ限

ル、斯ウ云フ制限ガ付イテ居ルノデゴザイマス、是ハ條文ニハゴザイマスケレドモ、實際上ハ行ハレテ居ラナイ、此ノ點ニ付キマシテハ世間ノ人ノ考ヘテ居リマス意味ノ反對ナコトガアルト云フコトヲチヨット申上ゲテ置キタイト思フノデゴザイマスガ、世間一般ノ人ハ競馬ト云フヤウナモノハ儲カルモノデアル、而モ改正案ガ出サレル場合ニ、何時モ政府ノ收入ト云フモノヲ増加スルト云フコトニ重キヲ置カレテ、又各俱樂部モソレヲ唯々トシテ贊成ヲシテ居ルヤウデアルガ、競馬ト云フモノハ餘分ナ金ガ這入ルモノダト云フ考ヲ世人ガ懷イテ居ルノデアリマス、所ガ實際ニナツテ見マスト、ナカ／＼競馬デ儲ケルト云フコトハ抑、大イナル考ヘ間違デアリマシテ、左様ナコトハ實際アリ得ベキコトデナイト思ヒマスガ、世間ノ人ハサウ考ヘテ居リマス、併シナガラ實際ニ參リマシテヤッテ見マスト、到底ナカ／＼思フヤウニ參ラズ、結局損ヲスルト云フコトガ現狀デアルノデゴザイマス、從ツテ此ノ枚數ノ制限ト云フコトハ、澤山ニ買フ弊ガアル爲ニ設ケラレテ居ルヤウデゴザイマスガ、現狀ニ於キマシテハ、サウ云フ意味ハ持タナイ、損スル爲ニ、此ノ損害ヲ如何ニシテ負擔シヤウ、

ニシタ方ガ宜イ、斯ウ云フヤウナ建前カラ此ノ法案ヲ立テタ云フコトニ説明ヲ聽キ、自分モ亦ソレガ此ノ場合トシテハ安全ナ方法デアラウ、然ルベキ方法デアラウ、斯様ニ考ヘテ本案ヲ提出シタヤウナ次第デアリマスノデ、只今ノ御話ノ事柄ハ、之ニ付テ相當ニ考慮ヲ加ヘマシテ、サウシテ他日此ノ點ニ付キマシテハ適當ノ改正ヲ考究スルノ必要ガアラウ、斯様ニ考ヘテ居リマスガ、何分本案ガ未ダ通過シ法人ノ成立ヲ見ナイ以前デアリマスカラシテ、此ノ場合直チニ次ノ議會ニ於テ左様ナ改正案ヲ出スト云フコトヲ獨斷デ言明ヲスルト云フコトハ差控ヘタ方ガ然ルベキデハナカラウカト斯様考ヘマシテ、御趣意ハ諒トスルコトヲ申上ゲテ置キマス

ル、斯ウ云フ制限ガ付イテ居ルノデゴザイマス、是ハ條文ニハゴザイマスケレドモ、實際上ハ行ハレテ居ラナイ、此ノ點ニ付キマシテハ世間ノ人ノ考ヘテ居リマス意味ノ反對ナコトガアルト云フコトヲチヨット申上ゲテ置キタイト思フノデゴザイマスガ、世間一般ノ人ハ競馬ト云フヤウナモノハ儲カルモノデアル、而モ改正案ガ出サレル場合ニ、何時モ政府ノ收入ト云フモノヲ増加スルト云フコトニ重キヲ置カレテ、又各俱樂部モソレヲ唯々トシテ贊成ヲシテ居ルヤウデアルガ、競馬ト云フモノハ餘分ナ金ガ這入ルモノダト云フ考ヲ世人ガ懷イテ居ルノデアリマス、所ガ實際ニナツテ見マスト、ナカ／＼競馬デ儲ケルト云フコトハ抑、大イナル考ヘ間違デアリマシテ、左様ナコトハ實際アリ得ベキコトデナイト思ヒマスガ、世間ノ人ハサウ考ヘテ居リマス、併シナガラ實際ニ參リマシテヤッテ見マスト、到底ナカ／＼思フヤウニ參ラズ、結局損ヲスルト云フコトガ現狀デアルノデゴザイマス、從ツテ此ノ枚數ノ制限ト云フコトハ、澤山ニ買フ弊ガアル爲ニ設ケラレテ居ルヤウデゴザイマスガ、現狀ニ於キマシテハ、サウ云フ意味ハ持タナイ、損スル爲ニ、此ノ損害ヲ如何ニシテ負擔シヤウ、

ル、斯ウ云フ制限ガ付イテ居ルノデゴザイマス、是ハ條文ニハゴザイマスケレドモ、實際上ハ行ハレテ居ラナイ、此ノ點ニ付キマシテハ世間ノ人ノ考ヘテ居リマス意味ノ反對ナコトガアルト云フコトヲチヨット申上ゲテ置キタイト思フノデゴザイマスガ、世間一般ノ人ハ競馬ト云フヤウナモノハ儲カルモノデアル、而モ改正案ガ出サレル場合ニ、何時モ政府ノ收入ト云フモノヲ増加スルト云フコトニ重キヲ置カレテ、又各俱樂部モソレヲ唯々トシテ贊成ヲシテ居ルヤウデアルガ、競馬ト云フモノハ餘分ナ金ガ這入ルモノダト云フ考ヲ世人ガ懷イテ居ルノデアリマス、所ガ實際ニナツテ見マスト、ナカ／＼競馬デ儲ケルト云フコトハ抑、大イナル考ヘ間違デアリマシテ、左様ナコトハ實際アリ得ベキコトデナイト思ヒマスガ、世間ノ人ハサウ考ヘテ居リマス、併シナガラ實際ニ參リマシテヤッテ見マスト、到底ナカ／＼思フヤウニ參ラズ、結局損ヲスルト云フコトガ現狀デアルノデゴザイマス、從ツテ此ノ枚數ノ制限ト云フコトハ、澤山ニ買フ弊ガアル爲ニ設ケラレテ居ルヤウデゴザイマスガ、現狀ニ於キマシテハ、サウ云フ意味ハ持タナイ、損スル爲ニ、此ノ損害ヲ如何ニシテ負擔シヤウ、

恢復シヤウカト云フ點カラ此ノ所謂本命ナル馬ヲ買ヒマシテモ、ナカ／＼思フヤウニ参ラナイ、馬ノコトデゴザイマスカラ病氣其ノ他ノ事故ノ爲ニ優秀ナル馬ト雖モ、必ズ一著ニ來ルトハ限リマセヌ、或ハ二著ニナルコトガゴザイマスシ、單勝ノ場合ハ無論一著限リ配當デゴザイマスカラ、サウ云フ場合ニハ無論損害ニナル、ソレデ只今甚ダ妙ナ實例デ恐縮デゴザイマスガ、二枚續ケテ買ヒマシテ、損害ヲ受ケタ場合ニハ、其ノ期ニ於テハ到底恢復ノ出來ナイト云フヤウナ狀態ニアル、ソレガ爲ニ本命ヲ買ッテ居ッタンデハナカ／＼四十圓ト云フ金ハ恢復ガ出來ナイ、故ニ所謂穴馬ヲ狙フ、若シクハ本命ノ馬ヲ一枚デハナカ／＼恢復ガ出來ナイカラ二枚三枚ヲ買フト云フヤウナ實情ノ爲ニ、此ノ枚數ヲ買フノデゴザイマシテ、儲ケル爲ニ買フナドト云フコトハ、現在ニ於テハ到底思ヒモ寄ラナイコトデス、此ノ點ガマルデ世間ト反對ニナッテ居リマス、從ッテ多クノ人ハ假令此ノ條文ガゴザイマシテモ、三枚、五枚、十枚ナンテ買フモノハ一人モナイ、從ッテ斯様な條文ハ私ハ要ラナイノデヤナカラウカ、寧ロアルガ爲ニ競馬ト云フモノハ儲カルト云フヤナ誤ッタル考ヲ却テ懷カシメルモノデアルカラ、此

ノ條規ハ寧ロ削ッタ方ガ宜イノデヤナカラウカト云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ對シテ政府ノ御所見ヲ伺ッテ見タイト思ヒマス

○政府委員(田淵敬治君) 御答へ申上ゲマス、只今高倉委員ノ御話デゴザイマスガ、競馬ヲ施行シテ参リマスノ、此ノ枚數制限ニ付キマシテハ、取締上誠ニ困難モゴザリマシテ、色々議論モアルノデゴザイマスガ、サウ云フ風ニ枚數ガ、枚數ノ制限ガナクモサウ澤山ニ購買スル人モ餘計ニハナイト考ヘマスルガ、其ノ邊ガ色々議論ガゴザイマシテ、枚數制限ガナクナレバ相當ノ枚數ヲ買フコトニナッテ、ソコニ色々射倖心ト申シマスカ、サウ云フ方面カラ考慮ヲシナケレバナラスト云フ見方モゴザリマスシ、其ノ邊色々見方モゴザリマセウガ、能クサウ云フヤウナ御意見ノ點ハ將來考究スルヤウニ致シタラドウカト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○子爵高倉篤麿君 私ハ此ノ條文ハ實際上ニ當リマシテ、取締ルト云フコトガナカナカ困難デ、寧ロ出來難イコトデヤナйкаト思ヒマスノデ、成ルベクハ此ノ次ニ改正法案ヲ出シシナリマスル場合ニハ、此ノ點ハ能ク御考ヘ下サイマシテ、善處サレムコトヲ希望致シマシテ私ノ質問ハ是デ終リマス

○委員長(子爵會我祐邦君) チョット私ガ極ク簡單ニ大臣ニ承リタイノデスガ、今高倉子爵ハ主ニ競馬場ニ入ッテ居リマス者ノ爲ノ弊害ヲ御述べニナッテ居ルノデアリマスガ、私ハ一體競馬ニ行ッタコトモゴザイマセヌ、一度行ッタコトガアルバカリデゴザイマシテ能ク存ジマセヌ、併シナガラ此ノ投機心ト申シマセウカニ煽ラレテ、競馬場ニ行ク者ガ社會上ニ非常ニ毒ヲ流シツ、アルト云フコトハ、ドウモ非常ナモノガ私ハアルダラウト思フ、或ハ商店ノ金ヲ搔拂ヒ、親ノ金ヲ擱ミ出シテ來ル、或ハ今御話ニナッタ一獲千金ヲ夢ミテ行クト云フヤウナコトハ、非常ニ社會ニ流ス毒ト云フモノハ大ナルモノガアッテ、先刻申シマシタヤウニ勝馬投票ノ許可サレタ時ハ寺内陸軍大臣ノ時デアリマシテ……先代ノ、所謂條件附デ許可ニナッテ居ルヤウナ姿デアアル、段々ト其ノ弊害ガ大キクナッテ來テアル際ニ當ッテ、斯ノ如ク又競馬俱樂部ノ組織ヲ變ヘラレテ、大キクシテ行カレルト云フコトニ付キマシテハ、餘程私ハ日本人ノ國民性ノ……美點モ多々持ッテ居ル國民性デアリマスガ、半面ニ又非常ニ澤山ノ缺點ヲ持ッテ居ルト思フノ、即チ直チニ煽動セラレルトカ、或ハ人ノ眞似

ヲスルトカ、或ハ投機心ニ於テ最モ鋭敏ニナルト申シマセウカ、其ノ缺點ヲ持ッテ居ル若イ者達ガ社會ニ流ス毒ト云フモノハ、非常ニ大イナルモノガアルヤウニ思フ、年々ソレガ良クナッテ行クカト云フト、私ハ年々惡クナッテ行クヤウニ思フノデゴザイマスガ、政府ハソレニ對シテドウ、社會上ニ現レル現象トシテ御覽ニナッテ居リマセウカ、是ダケヲ一ツ承リタイノデゴザイマス

○國務大臣(島田俊雄君) 只今委員長ノ御述ベニナリマス御意見ハ、誠ニ我々モ嘆ハシイコトデアリマスガ、サウ云フヤウナ傾向ガ無イトハ言ヘナイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、併シナガラ馬事ノ事柄、馬政ノ改良進歩ト斯ウ云フコトニ付キマシテ國防關係……又農村關係モアリマスガ、其方カラ考ヘマシテ、是ノ改良ヲスル對策ト致シマシテハ、馬ノ改良ト云フ方カラ言ヘバ、ドウモ競馬ヲヤルヨリ外ナイ、之ニ依ルコトガ殆ド根本的ニ必要ト云フヤウナ事情ニアリマス、デ競馬ヲヤラシテ、相當ナ規模ニ於テ競馬ヲヤラセマシテ、ソレニ要スル費用、又馬匹ノ改良、其ノ他全體ニ關シテ要スル費用ヲ出スト云フコトハ、ナカ／＼今日ノ我が國ノ狀態トシテハ非常ニ困難ナ事情デアリ、其ノ方ノ事柄ヲ考ヘテ居リマ

スト云フト、結局馬事ノ方ニ使フ金ト云フモノハ、非常ニ少イモノニナツテ目的ヲ達シナイ、ソコデ第一次ノ計畫、第二次ノ計畫ト云フ風ニ進メマス場合ニ、ドウモ結局弊害ヲ少クシ、出來ルダケ取締ヲ嚴重ニシテ、其ノ條件ノ下ニ於テ馬券ノ發行ヲシテ、之ヲ收入ノ財源ニセザルヲ得ナイト云フノガ、今日ノドウモ馬ニ關スル行政……ト云ヒマスカ、政治ト云ヒマスカ、其方カラ言ヒマス、サウ云フドウモ實情ニナツテ居ルノダト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、ソレデ此ノ富籤類似ノモノデアルトカ云フモノヲスルコトニ付テノ弊害ト云フコトニ付キマシテハ、是ハ注意ヲシナケレバナラス事柄デアリマシテ、非常ニ考ヘナケレバナラスコトデアリマスケレドモ、他ノ例ヲ以テ言ヒマス、例ヘバ此ノ大博覽會ヲヤルト云フナウナ場合ニ於キマシテ、此ノ博覽會ノ入場者ヲ誘致スルヤウナ意味カラ致シマシテ、入場券ニ多少ノ割増金ヲ附ケテ發賣數ヲ多クスルト云フヤウナコトモ、考ヘ方ニ依リマススト云フト賭事ヲ獎勵シ、射倖心ヲ云々ト云フコトニナリ、風教上宜シクナイト云フコトガ言ヘルノデアリマシテ、固ヨリソレハ其ノ方カラ申シマススト良クナイノデアリマス、良クナイノデアリマスケ

レドモ、ドウモ其博覽會ヲヤルトカ、或ハ競馬ヲ中心トシテ馬質改良ヲスルト云フコトニナルト、其ノ財源トシテ斯様ナ方法ヲ用フルノ外ハ已ムヲ得ナイト云フコトデアリマシテ、之ヲ内務大臣トカ或ハ司法大臣トカ云フ方ノ意味カラ御答ヘスル時ニハ、餘程其ノ點ニ付テハ答辯困難ト考ヘマスケレドモ、我々ト致シマシテモ、此ノ點ニ付キマシテ御示シノヤウナ御意見ニハ、誠ニ其ノ通りデアリマススト云フコトノ御答ヲスル外ハナイト同時ニ、又已ムヲ得ナイ事情デアル、斯ウ云フコトノ御含ミヲ願ッテ、其ノ間ニ於テ出來ルダケ風教ニ害ヲ及ボサナイヤウニ、弊害ノ少イヤウニスル、之ニ努力スル、其ノ方ニ力ヲ注グト云フコトニ御諒解ヲ願フ外ニハ、現在トシテハ仕方ナイ、已ムヲ得ナイ事情デアル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○委員長(子爵會我祐邦君) ドウカ願クバ、人尊キカ馬尊キカト云フコトノ主客顛倒シナイ意味ニ於テ、且又弊害ノ最モ少イ意味ニ於テ、政府ニ此ノ問題ヲ十分御檢討アラムコトヲ御願ヒ致シマス

○男爵關義壽君 先程ノ質問ト關聯シタコトデアリマスガ、軍馬トシテ、軍馬ニ代ル豫定ヲ以テ育成サレタ陸軍ノ育成馬トカ、或

ハ購買漏レ馬トシテ、買ハレマシテ後ニ殘ツタ數、軍馬ニ買上ゲラレナイ殘ツタ數ノ比準、比率ガ分ツテ居リマシタラ、今デナクテモ宜シウゴザイマスカラ、オ分リニナツタラオ知ラセテ願ヒマス

○委員長(子爵會我祐邦君) 今日ハ是デ散會致シマシテ、明後日午後一時半カラ開キタイト思ヒマス

午後四時二十三分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵會我 祐邦君
副委員長 男爵關 義壽君
委員

侯爵德川 賴貞君
侯爵池田 宣政君
伯爵酒井 忠克君
子爵高倉 篤麿君
子爵西尾 忠方君
松村眞一郎君
佐藤鐵太郎君
男爵沖 貞男君
男爵佐藤達次郎君
宮田 光雄君
丸山 鶴吉君
吉田羊治郎君
風間八左衛門君

國務大臣

農林大臣 島田 俊雄君

政府委員

陸軍少將 磯谷 廉介君

農林參與官 小林 絹治君

農林省畜産局長 田淵 敬治君

説明員

陸軍騎兵大佐 吉田 憲君